

令和2年度 健保組合医療費の動向に関する調査

令和4年6月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」と健保組合提供のデータをもとに、令和2年度の健保組合医療費の動向をとりまとめたものです。令和2年度は新型コロナ感染拡大による患者の受診控え等の影響を受け、医療費総額が対前年度比▲4.8%の2,235億円減少するなど、令和元年度までとは大きく異なる動きを示しています（なお、第Ⅰ部「令和2年度健保組合医療費の概況」と第Ⅱ部「令和2年度医療費の動向：健保連調査」では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる点にご留意下さい。詳細は pp.4-6 を参照）。

【調査結果のポイント】

（第Ⅰ部）令和2年度健保組合医療費の概況（1,387組合）

- 令和2年度の健保組合医療費の総額は4兆4,112億円で、対前年度比▲4.8%の2,235億円の減少となった。
- 診療区分別にみると、医科入院外が▲6.6%と大きく減少した。次いで、医科入院：▲5.8%、調剤：▲3.9%となっている。一方、訪問看護療養費は21.1%の増加となった。

（第Ⅱ部）令和2年度医療費の動向：健保連調査（1,250組合）

- 1人当たり医療費は、本人：14万7,636円、家族：14万1,471円、前期高齢者：39万9,574円。
- 1人当たり医療費の伸び率をみると、本人：▲1.9%、家族：▲8.4%、前期高齢者：▲3.6%となっている。
- 疾病19分類別に1人当たり医療費をみると、新生物が1万5,383円と最も高く、次いで、内分泌・栄養・代謝疾患：1万2,274円、循環器系疾患：1万2,205円となっている。
- 疾病19分類別1人当たり医療費の伸び率は、呼吸器系疾患が▲34.9%と大きく減少。次いで、耳・乳様突起疾患：▲17.2%、感染症・寄生虫症：▲16.2%となっている。一方、皮膚・皮下組織疾患は5.8%の増加。次いで、血液・造血器・免疫障害：4.2%、神経系疾患：3.3%となっている。
- 疾病19分類別に医療費3要素の伸び率をみると、▽受診率：呼吸器系疾患が▲34.8%の減少、▽1件当たり日数：耳・乳様突起疾患が▲7.4%の減少、▽1日当たり医療費：耳・乳様突起疾患が12.7%の増加となっている。

目 次

本調査における対象組合数及び医療費等について（留意点）	4
第Ⅰ部：令和2年度 健保組合医療費の概況（1,387 組合）	
令和2年度医療費の概況	7
（グラフ）診療区分別医療費及び対前年度比伸び率（%）の月別推移	8
（グラフ）診療区分別1人当たり医療費の対前年同月比伸び率（%）の月別推移	9
第Ⅱ部：令和2年度医療費の動向：健保連調査（1,250 組合）	
1. 本人・家族別にみた1人当たり医療費及び3要素	
（1）本人・家族計	10
① 1人当たり医療費	
② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素	
（2）本人	12
① 1人当たり医療費	
② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素	
（3）家族	14
① 1人当たり医療費	
② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素	
（4）前期高齢者	16
① 1人当たり医療費	
② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素	
（グラフ）年齢階層別1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率（%）	
【本人・家族計】	18
【本人】	19
【家族】	20
（グラフ）1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率（%）の月別推移	
【医科計】	21
【医科入院】	22
【医科入院外】	23
【歯科計】	24
【調剤】	25

2. 疾病 19 分類別にみた医療費構成割合	
(1) 医科計	26
(参考) 疾病 19 分類別医療費構成割合 (比較表)	
(2) 医科入院	28
(参考) 疾病 19 分類別医療費構成割合 (比較表)	
(3) 医科入院外	30
(参考) 疾病 19 分類別医療費構成割合 (比較表)	
3. 疾病 19 分類別にみた 1 人当たり医療費	
(1) 医科計	32
① 1 人当たり医療費	
② 対前年度比伸び率	
③ 伸び率からみた医療費 3 要素	
(グラフ) 疾病 19 分類別 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率 (%)	
(2) 医科入院	36
① 1 人当たり医療費	
② 対前年度比伸び率	
③ 伸び率からみた医療費 3 要素	
(グラフ) 疾病 19 分類別 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率 (%)	
(3) 医科入院外	40
① 1 人当たり医療費	
② 対前年度比伸び率	
③ 伸び率からみた医療費 3 要素	
(グラフ) 疾病 19 分類別 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率 (%)	
(グラフ) 疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院	44
【本人】	
【家族】	
(グラフ) 疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院外	46
【本人】	
【家族】	
(参考) 疾病 19 分類 (主な 5 疾病) 別受診率の対前年度同月比伸び率 (%)	48
用語の解説	49

本調査の集計組合数及び医療費等に関する留意点

1. 集計組合数及びレセプトデータの違いについて

第Ⅰ部「令和2年度 健保組合医療費の概況」と第Ⅱ部「令和2年度医療費の動向：健保連調査」では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる。

(1) 第Ⅰ部「令和2年度 健保組合医療費の概況」における組合数と医療費

社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」をもとに健保組合全件分(1,387組合)を集計したものである。電算処理レセプト(電子レセプト)のほか、紙媒体レセプトを含め、全レセプトを対象とした再審査分等調整後の確定ベースの数値である。医療費総額には、医科(入院・入院外)、歯科(入院・入院外)及び調剤費のほか、入院時食事療養費・入院時生活療養費及び訪問看護療養費の費用額が含まれている。

令和2年度 診療報酬等請求内訳書データの概要：1,387組合

	レセプト件数(件)	医療費総額(円)
計	298,929,038	4,393,093,120,694
医科	155,500,008	2,917,878,203,778
歯科	46,610,690	570,865,255,126
調剤	96,818,340	904,349,661,790

加入者数(令和2年10月末現在)

1,387組合	加入者数(人)
計	28,790,641
本人	16,312,865
家族	12,128,134
高齢者(70-74歳)	349,642

(2) 第Ⅱ部「令和2年度医療費の動向：健保連調査」における医療費

1,250 組合の電算処理レセプトのデータを集計したものである。紙レセプトのほか、入院時食事療養費・入院時生活療養費及び訪問看護療養費は含まれていない。また、対前年度比伸び率は 1,250 組合のうち、令和2年度と元年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の 1,219 組合の数値をもとに算出している。

① 令和2年度医療費：1,250 組合

	レセプト件数 (件)	医療費総額 (円)
計	256,621,980	3,641,560,601,030
医科	133,092,432	2,378,182,832,180
歯科	39,341,793	479,474,808,490
調剤	84,187,755	783,902,960,360

加入者数

1,250 組合	加入者数 (人)
計	25,107,907
本人	14,518,174
家族	10,589,790

② 対前年度比伸び率：1,219 組合

	レセプト件数 (件)		医療費総額 (円)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
計	251,212,283	285,983,988	3,564,042,673,980	3,753,211,760,984
医科	130,294,423	150,247,091	2,327,395,123,880	2,490,772,434,804
歯科	38,531,256	40,815,778	469,535,703,450	463,988,186,150
調剤	82,386,604	94,921,119	767,111,846,650	798,451,140,030

加入者数

1,219 組合	加入者数 (人)	
	令和2年度	令和元年度
計	24,595,834	24,682,678
本人	14,239,547	14,154,967
家族	10,356,342	10,527,836

2. 健保連調査における疾病 19 別医療費について (p.26～)

健保連調査による疾病 19 分類別医療費は、1 枚の診療報酬明細補 (レセプト) に記載された 1 ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、医療費を疾病ごとに振り分けた結果に基づき算出する手法を用いている。

公的な疾病統計におけるレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1 レセプト 1 傷病名による医療費とは異なる点に留意されたい。また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。

3. 疾病 19 分類における新型コロナウイルス (COVID-19) の分類区分について

疾病 19 分類 (社会保険表章用疾病分類表) において、「新型コロナウイルス (COVID-19)」は、「XXII : 特殊目的用コード (U00-99)」に分類されている。

「XXII : 特殊目的用コード」には、新型コロナウイルスの他に「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」や「ジカウイルス病」等が含まれているが、当該分類には令和元年度まで医療費がほぼ計上されていなかったことから、今年度に当該分類へ計上された医療費の大部分は新型コロナウイルスによるものと判断している。

第 I 部：令和 2 年度 健保組合医療費の概況（1,387 組合）

令和 2 年度医療費の概況

- 令和 2 度の医療費総額は 4 兆 4,112 億円で、対前年度比▲4.8%の 2,235 億円の減少となった。
- 医科入院外が▲6.6%と大きく減少しており、次いで、医科入院：▲5.8%、調剤：▲3.9%となっている。訪問看護療養費は 21.1%の増加となった。
- 受診率は、医科入院外が▲12.9%、調剤が▲12.8%と大きく減少。一方、1 日当たり医療費は、調剤が 13.3%と大きく増加し、次いで、医科入院外：8.6%、歯科計：6.4%となっている。

総額及び診療区分別医療費

診療区分	令和 2 年度	令和元年度	伸び率(%)
合計	4 兆 4,112 億円	4 兆 6,347 億円	▲4.8
医科計	2 兆 9,179 億円	3 兆 1,132 億円	▲6.3
入院	1 兆 1,146 億円	1 兆 1,835 億円	▲5.8
入院外	1 兆 8,032 億円	1 兆 9,298 億円	▲6.6
歯科計	5,709 億円	5,657 億円	0.9
調剤	9,043 億円	9,408 億円	▲3.9
訪問看護療養費	181 億円	150 億円	21.1

1 人当たり医療費²及び 3 要素

診療区分	1 人当たり 医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1 件当たり 日数 (日)	1 日当たり 医療費 (円)
医科入院	38,716	72.9	8.4	62,965
医科入院外	62,633	5,328.2	1.4	8,549
歯科計	19,828	1,619.0	1.6	7,623
調剤	31,411	3,362.8	1.2	7,991

対前年度比伸び率 (%)

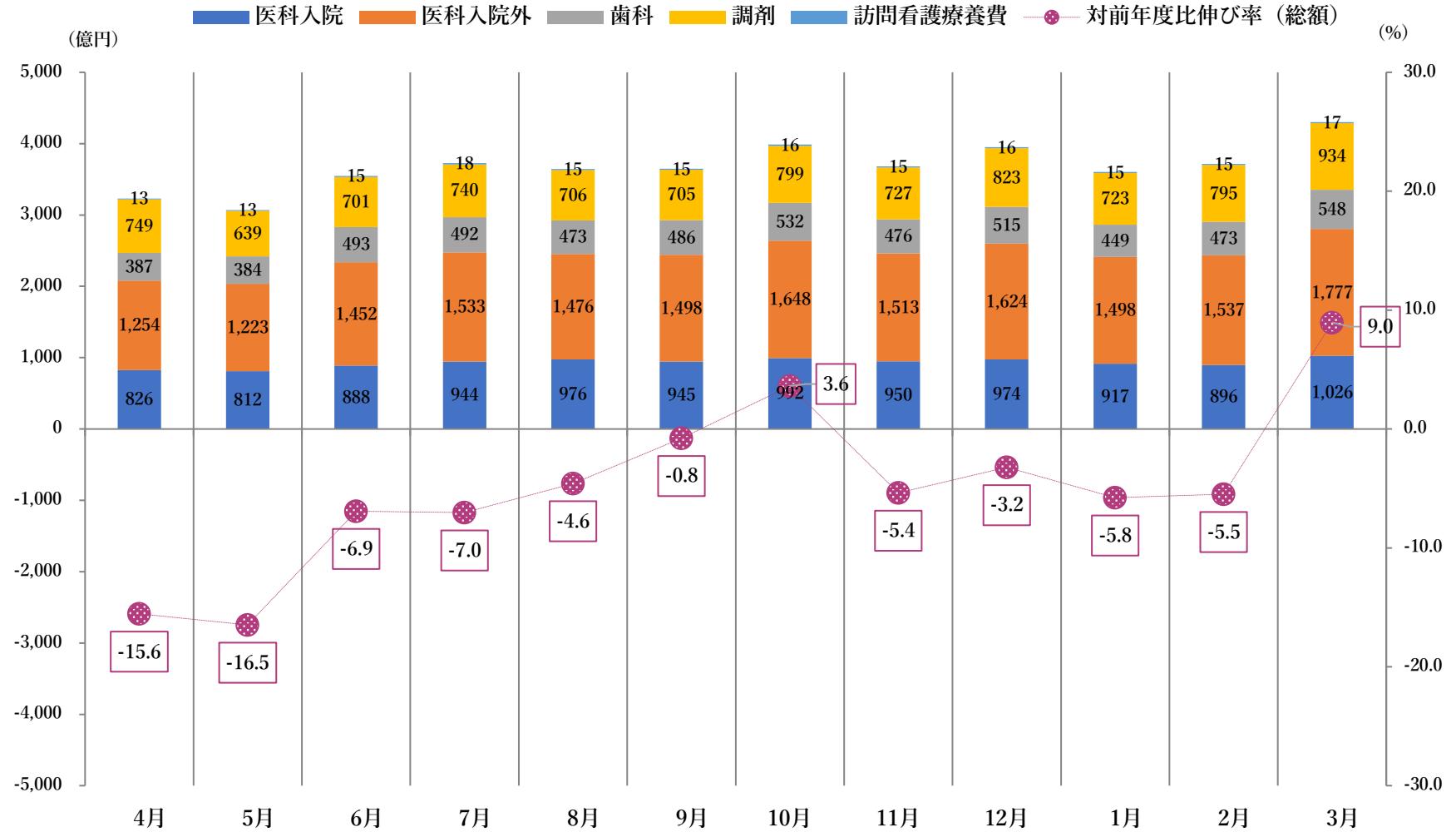
診療区分	1 人当たり 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
医科入院	▲5.5	▲8.7	▲1.2	4.7
医科入院外	▲6.3	▲12.9	▲1.4	8.6
歯科計	1.2	▲5.5	0.6	6.4
調剤 ³	▲3.6	▲12.8	▲2.5	13.3

¹ 医療費には入院時食事療養費、入院時生活療養費、訪問看護療養費が含まれる。

² 1 人当たり医療費の算出に用いた加入者数は、令和 3 年 10 月末現在の加入者数である (p.4 参照)。

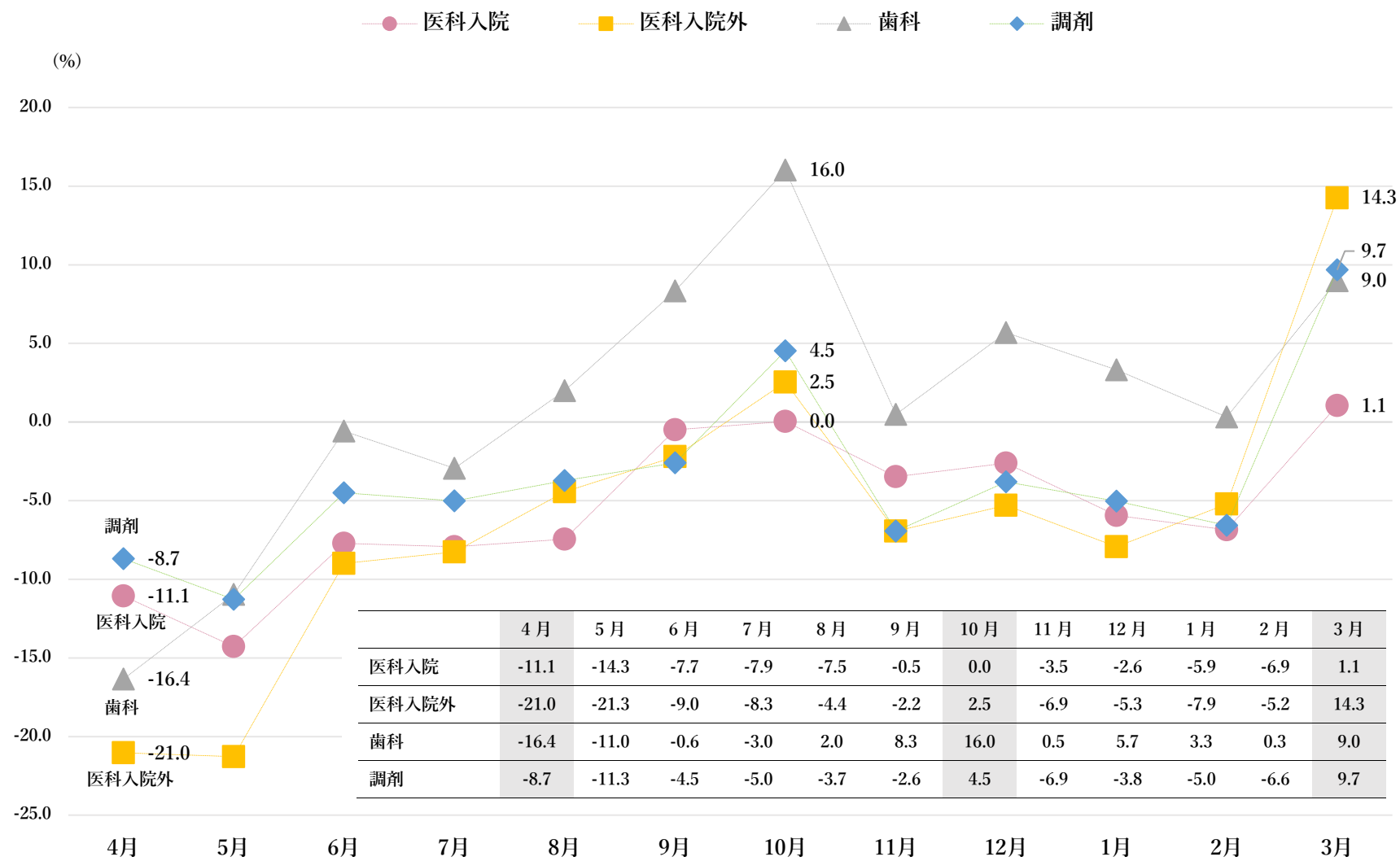
³ 調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方せん発行回数を使用しているため、「1 件当たり日数」は「1 件当たり回数」、「1 日当たり医療費」は「1 回当たり医療費」となる。

令和2年度 診療区分別医療費及び医療費総額の対前年同月比伸び率（%）の月別推移



注) 令和3年3月の医療費総額の対前年度比伸び率が急激に増加しているが、これは同2年3月から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の医療費が大きく減少（対元年度比▲8.0%）したことによるものである（以下、同じ）。

令和2年度 診療区分別1人当たり医療費の対前年同月比伸び率(%)の月別推移



第Ⅱ部：令和2年度医療費の動向：健保連調査（1,250 組合）

1. 本人・家族別にみた1人当たり医療費及び3要素

（1）本人・家族計

① 1人当たり医療費

- 本人・家族計の1人当たり医療費は14万5,036円。
- 診療区分別にみると、▽医科入院：3万3,867円、▽医科入院外：6万851円、▽歯科計：1万9,097円、▽調剤：3万1,221円となっている。

令和2年度：診療区分別1人当たり医療費及び3要素

診療区分	1人当たり 医療費（円）	受診率 （件/千人）	1件当たり 日数（日）	1日当たり 医療費（円）
合計	145,036	10,220.3	1.4	10,237
医科計	94,718	5,300.8	1.5	12,239
入院	33,867	66.2	8.5	60,146
入院外	60,851	5,234.7	1.4	8,480
歯科計	19,097	1,566.9	1.6	7,604
入院	329	1.2	3.9	69,826
入院外	18,767	1,565.7	1.6	7,487
調剤 ⁴	31,221	3,353.0	1.2	7,969

対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

診療区分	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
合計	▲4.7	▲11.9	▲0.7	8.9
医科計	▲6.2	▲13.0	▲0.7	8.4
入院	▲6.0	▲12.2	1.8	5.0
入院外	▲6.3	▲13.0	▲0.7	8.6
歯科計	1.6	▲5.3	0.6	6.4
入院	▲6.3	▲11.8	▲1.8	8.0
入院外	1.7	▲5.3	0.6	6.5
調剤	▲3.6	▲12.9	▲2.5	13.4

⁴ 調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方せん発行回数を使用しているため、「1件当たり日数」は「1件当たり回数」、「1日当たり医療費」は「1回当たり医療費」となる（以下、同じ）。

② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素

【1人当たり医療費】

- ▲4.7%の減少。医科入院外が▲6.3%と大きく減少し、次いで、歯科入院：▲6.3%、医科入院：▲6.0%となっている。

【受診率】

- ▲11.9%の減少。医科入院外が▲13.0%と大きく減少し、次いで、調剤：▲12.9%、医科入院：▲12.2%となっている。

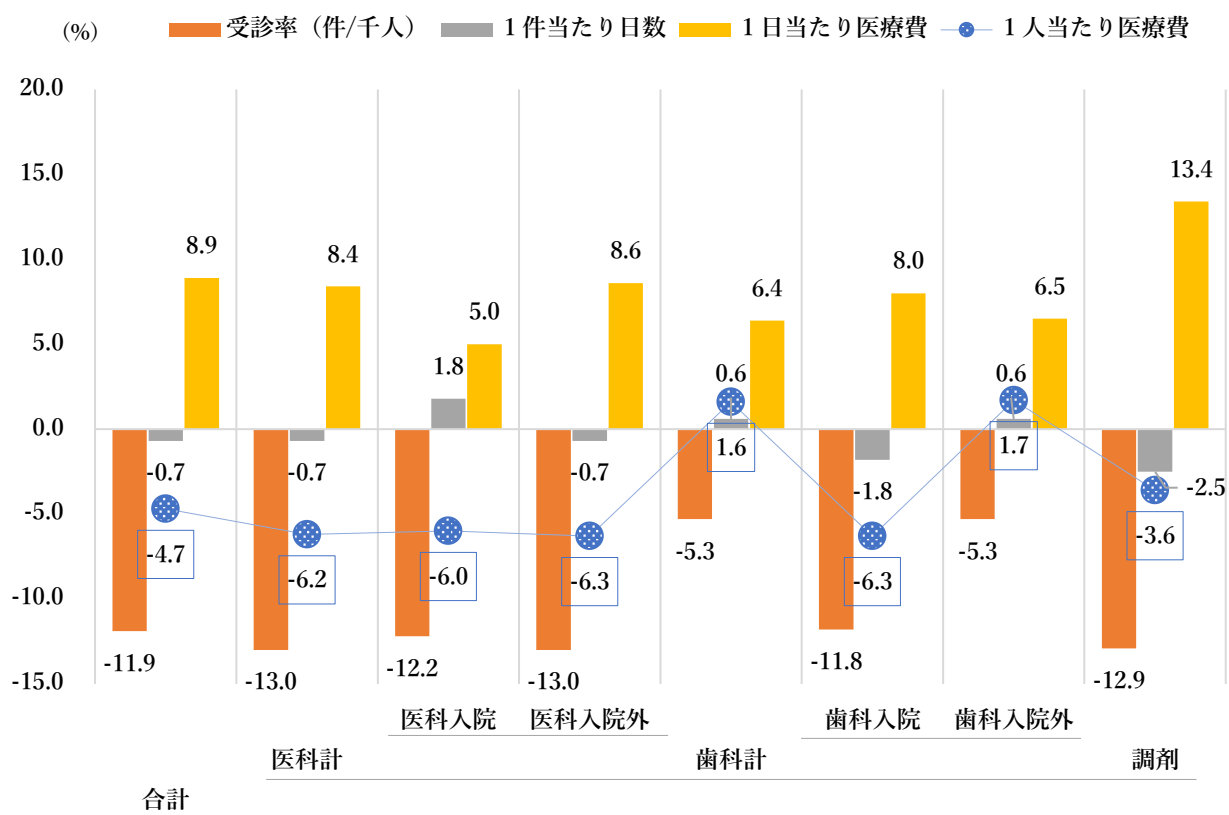
【1件当たり日数】

- ▲0.7%の減少。調剤が▲2.5%と減少した。医科入院は1.8%の増加となった。

【1日当たり医療費】

- 8.9%の増加。調剤が13.4%と大きく増加し、次いで、医科入院外：8.6%、歯科入院：8.0%、歯科入院外：6.5%となっている。

1人当たり医療費及び医療費3要素の対前年度比伸び率 (%)



(2) 本人

① 1人当たり医療費

- 本人の1人当たり医療費は14万7,636円。
- 診療区分別にみると、▽医科入院：3万3,254円、▽医科入院外：6万2,486円、▽歯科計：1万9,944円、▽調剤：3万1,952円となっている。

令和2年度：診療区分別1人当たり医療費及び3要素

診療区分	1人当たり 医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数 (日)	1日当たり 医療費 (円)
合計	147,636	9,732.4	1.4	10,963
医科計	95,740	5,044.9	1.4	13,193
入院	33,254	63.3	8.1	65,270
入院外	62,486	4,981.5	1.4	9,261
歯科計	19,944	1,532.6	1.7	7,669
入院	305	1.1	4.1	65,695
入院外	19,639	1,531.4	1.7	7,565
調剤	31,952	3,154.9	1.1	8,853

対前年度比伸び率 (※両年度同一の1,219組合ベース)

(単位：%)

診療区分	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
合計	▲1.9	▲8.5	0.7	6.4
医科計	▲3.0	▲9.4	1.4	6.0
入院	▲3.6	▲8.4	0.3	5.0
入院外	▲2.8	▲9.4	0.8	6.3
歯科計	2.9	▲4.6	1.8	6.5
入院	▲8.1	▲11.2	▲3.3	7.2
入院外	3.1	▲4.6	1.2	6.6
調剤	▲1.5	▲8.8	▲0.9	8.9

② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素

【1人当たり医療費】

- ▲1.9%の減少。歯科入院が▲8.1%と大きく減少し、次いで、医科入院：▲3.6%、医科入院外：▲2.8%となっている。また、歯科入院外は3.1%の増加となった。

【受診率】

- ▲8.5%の減少。歯科入院が▲11.2%と大きく減少し、次いで、医科入院外：▲9.4%、調剤：▲8.8%となっている。

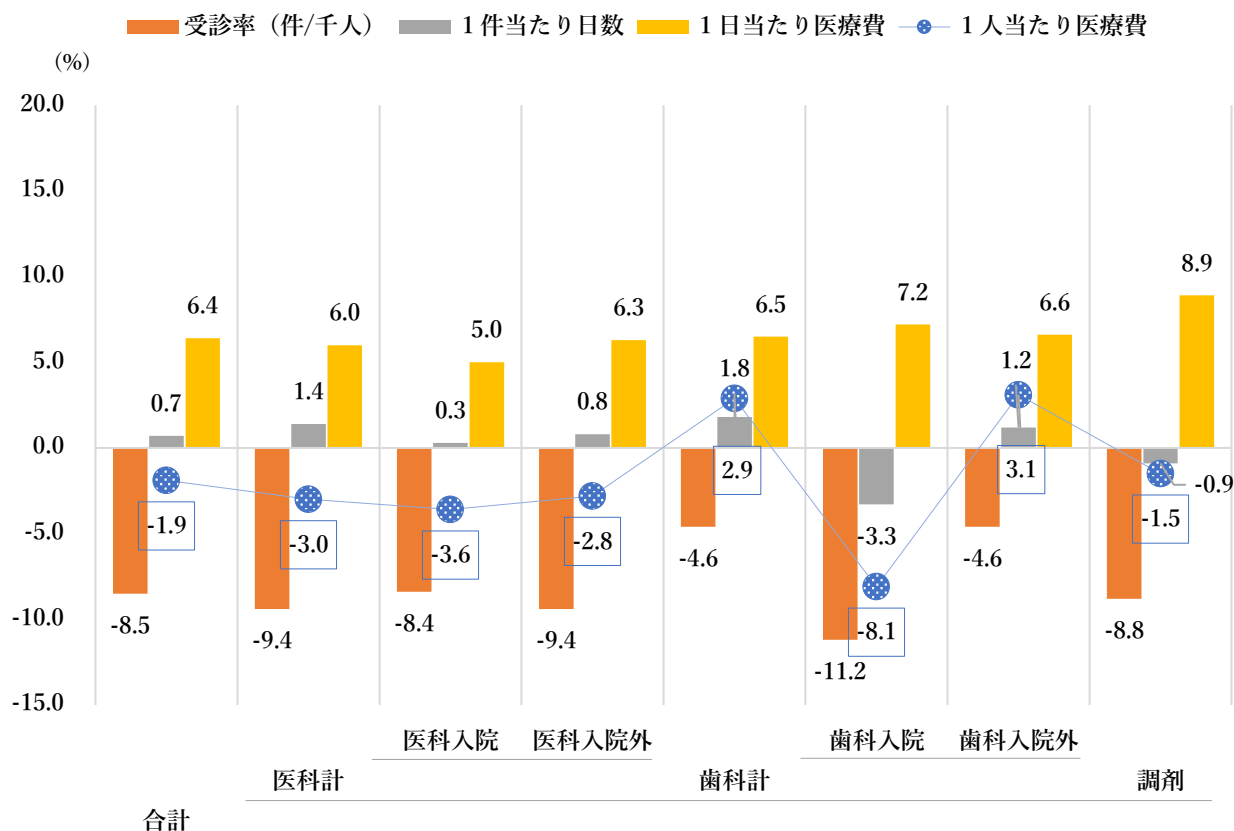
【1件当たり日数】

- 0.7%の増加。歯科入院が▲3.3%と減少した。一方、歯科入院外：1.2%、医科入院外：0.8%、医科入院：0.3%の増加となった。

【1日当たり医療費】

- 6.4%の増加。調剤が8.9%と大きく増加し、次いで、歯科入院：7.2%、歯科入院外：6.6%、医科入院外：6.3%となっている。

1人当たり医療費及び医療費3要素の対前年度比伸び率（%）



(3) 家族

① 1人当たり医療費

- 家族の1人当たり医療費は14万1,471円。
- 診療区分別にみると、▽医科入院：3万4,708円、▽医科入院外：5万8,610円、▽歯科計：1万7,935円、▽調剤：3万219円となっている。

令和2年度：診療区分別1人当たり医療費及び3要素

診療区分	1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
合計	141,471	10,890.3	1.4	9,350
医科計	93,318	5,651.7	1.5	11,109
入院	34,708	70.0	9.1	54,524
入院外	58,610	5,581.7	1.4	7,549
歯科計	17,935	1,614.0	1.5	7,508
入院	363	1.3	3.7	75,284
入院外	17,572	1,612.7	1.5	7,371
調剤	30,219	3,624.6	1.2	6,961

対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

（単位：％）

診療区分	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
合計	▲8.4	▲15.5	▲2.1	10.8
医科計	▲10.3	▲16.8	▲2.0	10.1
入院	▲9.0	▲16.3	4.2	4.3
入院外	▲11.1	▲16.8	▲2.8	9.7
歯科計	▲0.6	▲6.0	▲0.7	6.2
入院	▲4.2	▲12.3	0.3	9.0
入院外	▲0.5	▲6.0	0.0	6.2
調剤	▲6.5	▲17.1	▲3.2	17.3

② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素

【1人当たり医療費】

- ▲8.4%の減少。医科入院外が▲11.1%と大きく減少し、次いで、医科入院：▲9.0%、調剤：▲6.5%となっている。

【受診率】

- ▲15.5%の減少。調剤が▲17.1%と大きく減少し、次いで、医科入院外：▲16.8%、医科入院：▲16.3%となっている。

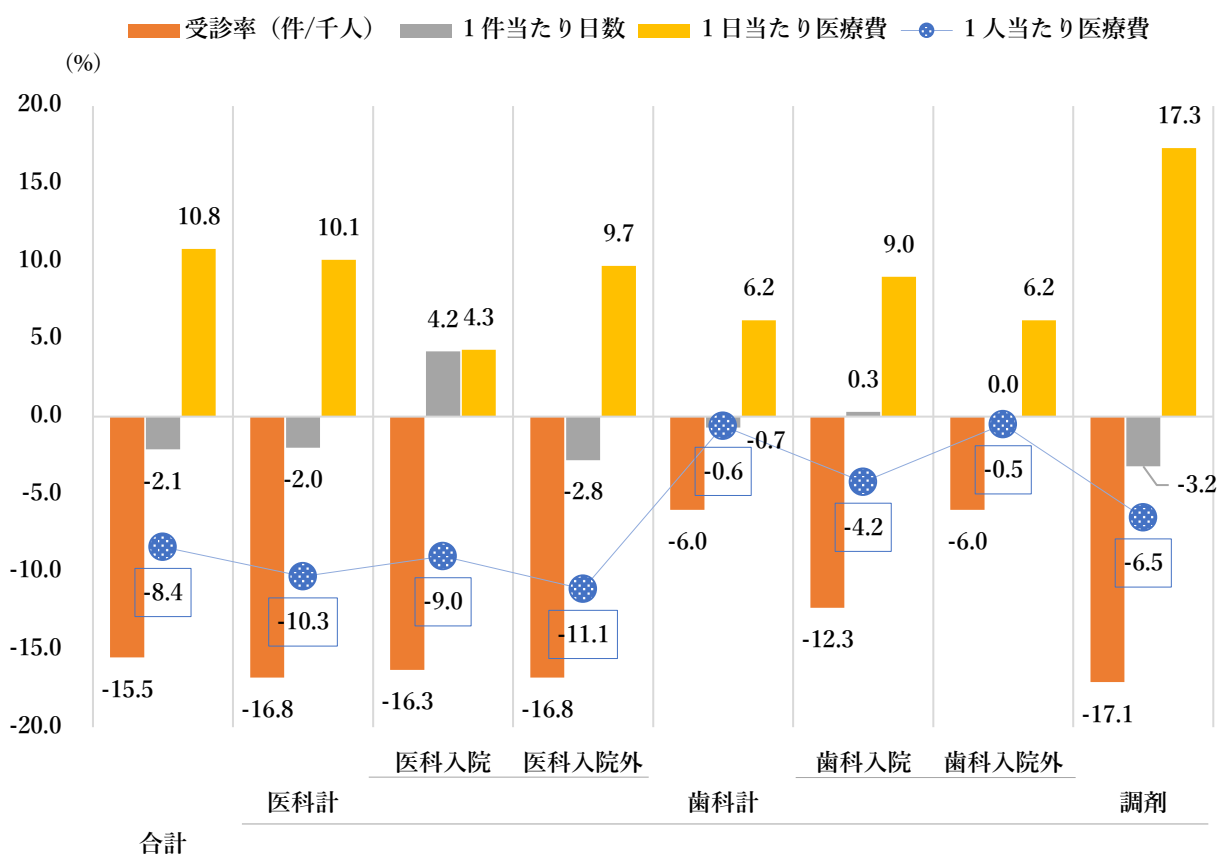
【1件当たり日数】

- ▲2.1%の減少。調剤が▲3.2%、医科入院外が▲2.8%と減少した。一方、医科入院は4.2%の増加となった。

【1日当たり医療費】

- 10.8%の増加。調剤が17.3%と大きく増加し、次いで、医科入院外：9.7%、歯科入院：9.0%となっている。

1人当たり医療費及び医療費3要素の対前年度比伸び率（%）



(4) 前期高齢者

① 1人当たり医療費

- 前期高齢者の1人当たり医療費は39万9,574円。
- 診療区分別にみると、▽医科入院：12万5,793円、▽医科入院外：15万9,932円、▽歯科計：3万503円、▽調剤：8万3,346円となっている。

令和2年度：診療区分別1人当たり医療費及び3要素

診療区分	1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
合計	399,574	19,998.6	1.5	13,634
医科計	285,725	10,624.1	1.6	16,597
入院	125,793	191.3	11.0	59,844
入院外	159,932	10,432.8	1.5	10,582
歯科計	30,503	2,342.5	1.7	7,520
入院	329	0.9	6.6	52,543
入院外	30,175	2,341.6	1.7	7,450
調剤 ⁵	83,346	7,031.9	1.1	10,373

対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

(単位：%)

診療区分	1人当たり 医療費	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
合計	▲3.6	▲6.6	▲1.3	5.0
医科計	▲4.2	▲6.9	▲1.8	4.6
入院	▲4.5	▲10.6	1.9	4.9
入院外	▲3.9	▲6.8	▲1.4	4.8
歯科計	▲3.3	▲10.0	0.0	7.6
入院	▲23.2	▲23.9	▲4.8	6.1
入院外	▲3.0	▲10.0	0.0	7.8
調剤	▲1.8	▲5.0	▲1.7	5.1

⁵ 調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方せん発行回数を使用しているため、「1件当たり日数」は「1件当たり回数」、「1日当たり医療費」は「1回当たり医療費」となる。

② 伸び率からみた1人当たり医療費及び3要素

【1人当たり医療費】

- ▲3.6%の減少。歯科入院が▲23.2%と大きく減少し、次いで、医科入院：▲4.5%、医科入院外：▲3.9%となっている。

【受診率】

- ▲6.6%の減少。歯科入院が▲23.9%と大きく減少し、次いで、医科入院：▲10.6%、歯科入院外：▲10.0%となっている。

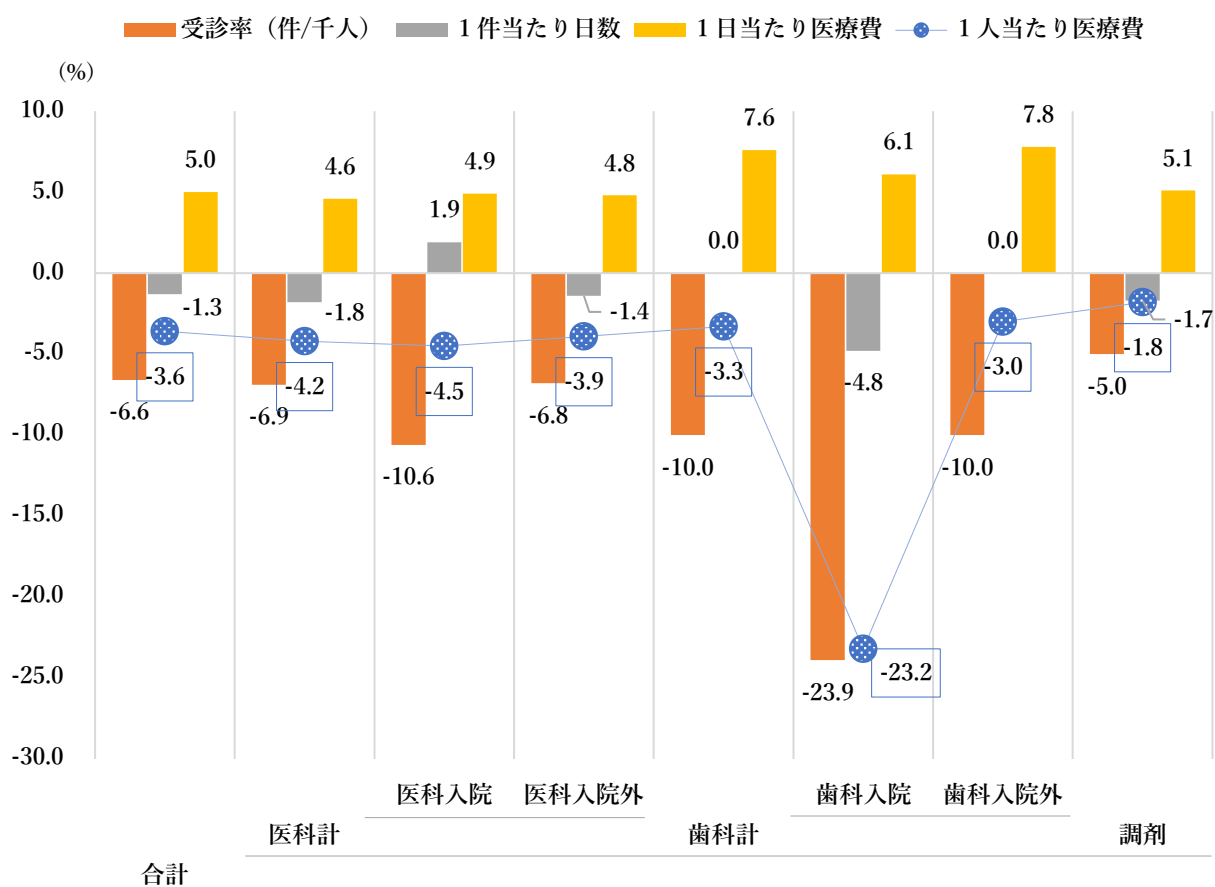
【1件当たり日数】

- ▲1.3%の減少。歯科入院が▲4.8%と大きく減少し、次いで、調剤：▲1.7%、医科入院外：▲1.4%となっている。一方、医科入院は1.9%の増加となった。

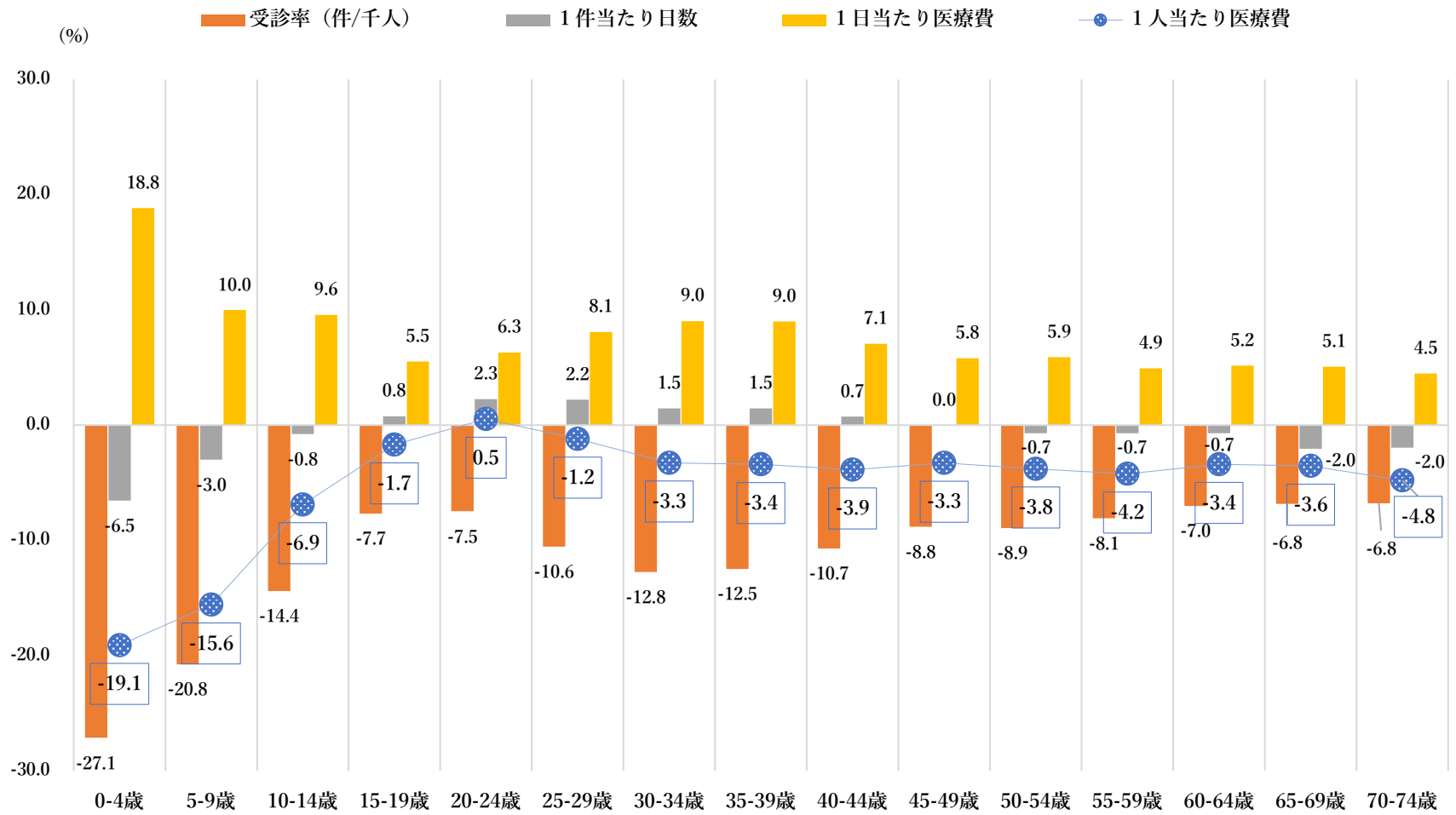
【1日当たり医療費】

- 5.0%の増加。歯科入院外が7.8%と大きく増加し、次いで、歯科入院：6.1%、調剤：5.1%となっている。

1人当たり医療費及び医療費3要素の対前年度比伸び率(%)

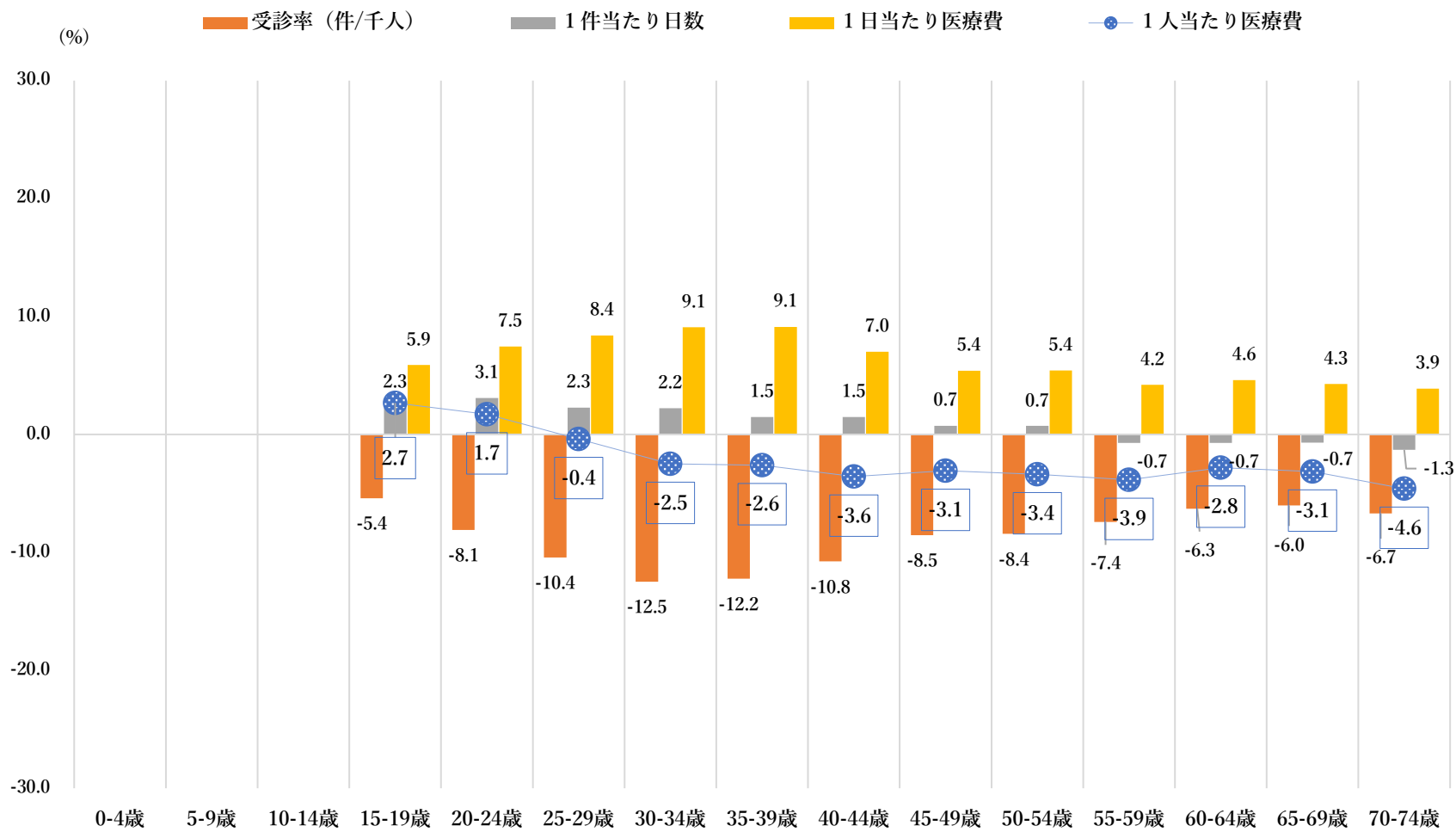


令和2年度 年齢階層別 1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率 (%)
【本人・家族計】



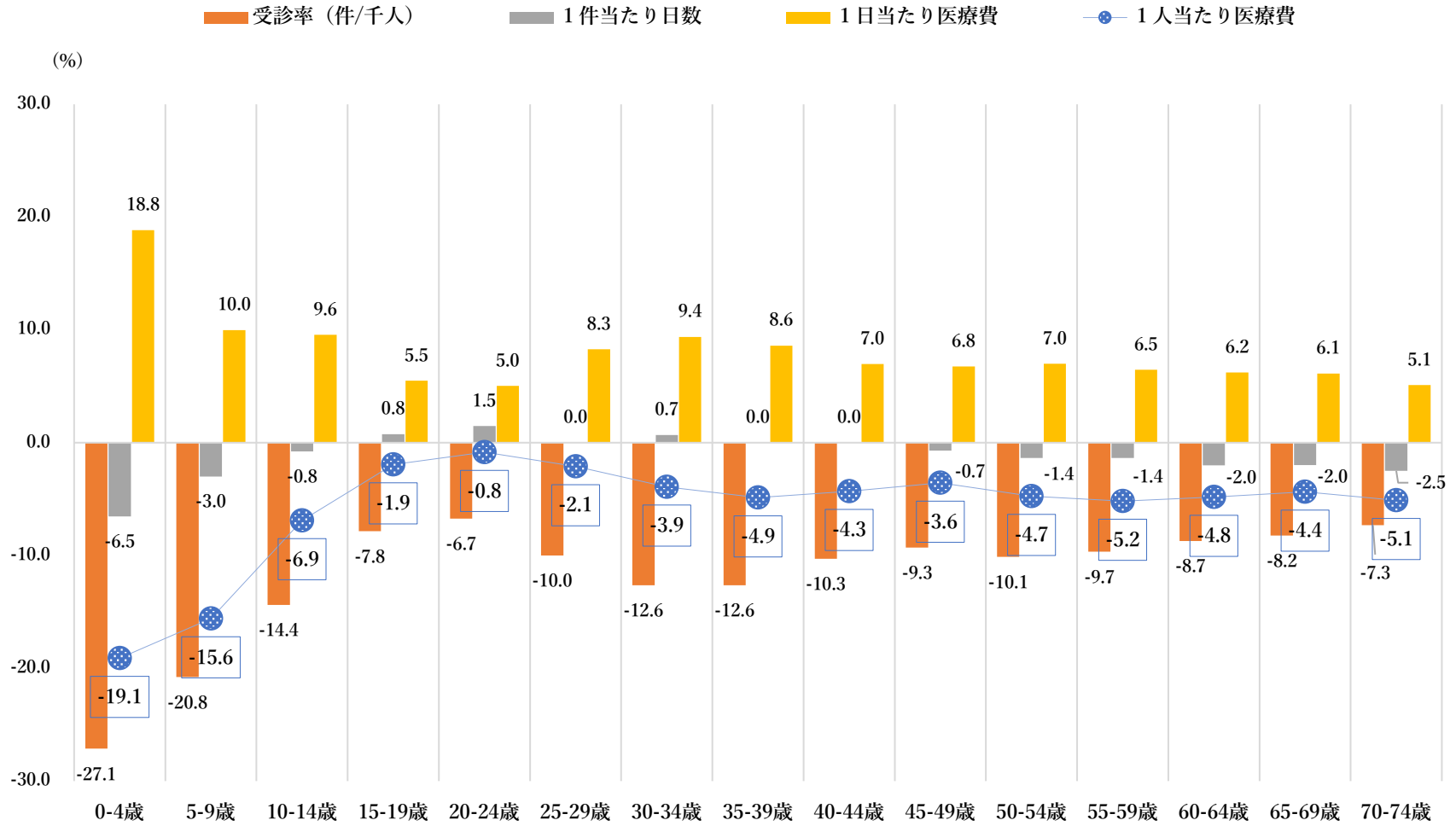
令和2年度 年齢階層別 1人あたり医療費及び医療費3要素の対前年度伸び率 (%)

【本人】

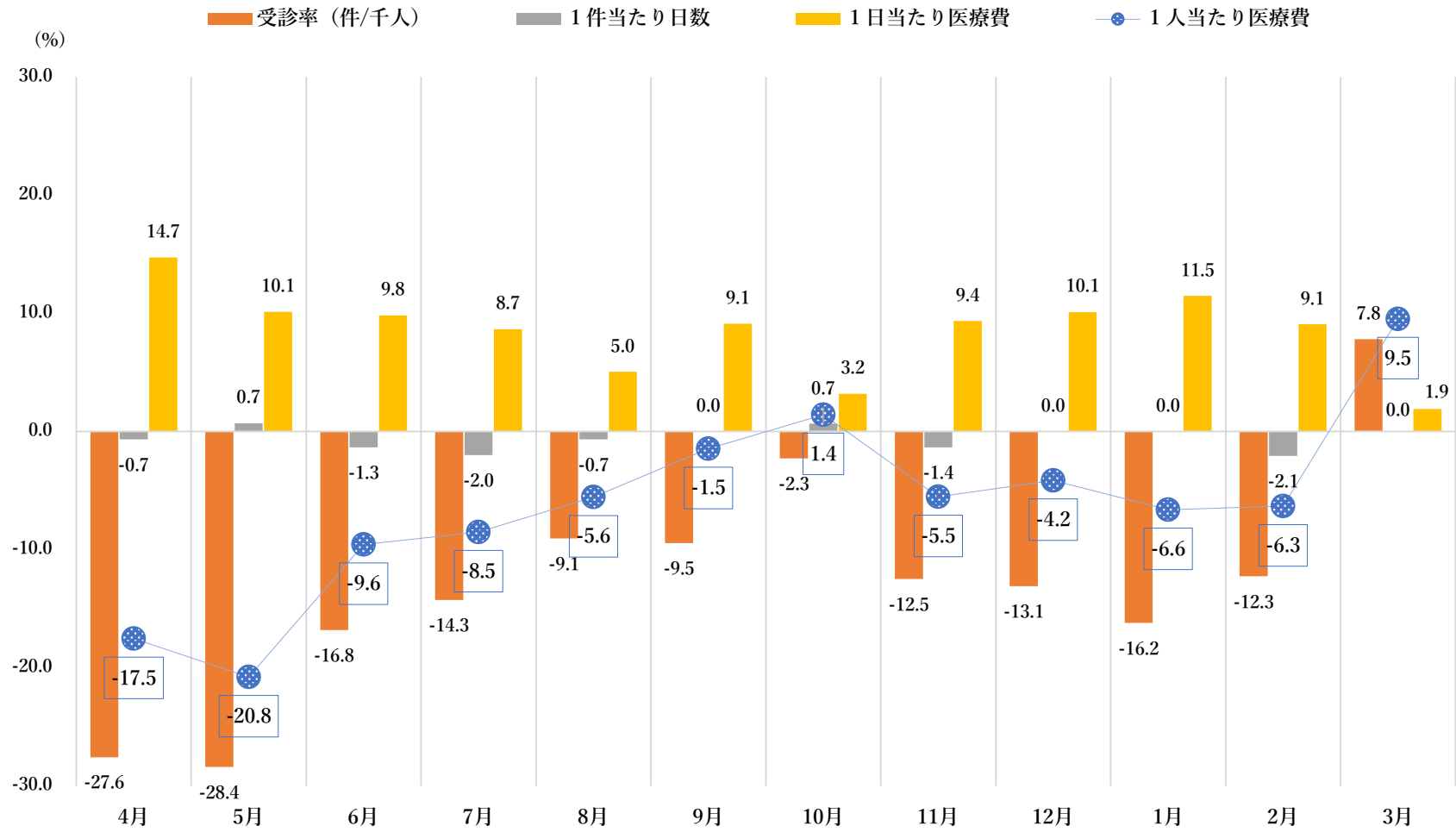


令和2年度 年齢階層別 1人あたり医療費及び医療費3要素の対前年度伸び率 (%)

【家族】

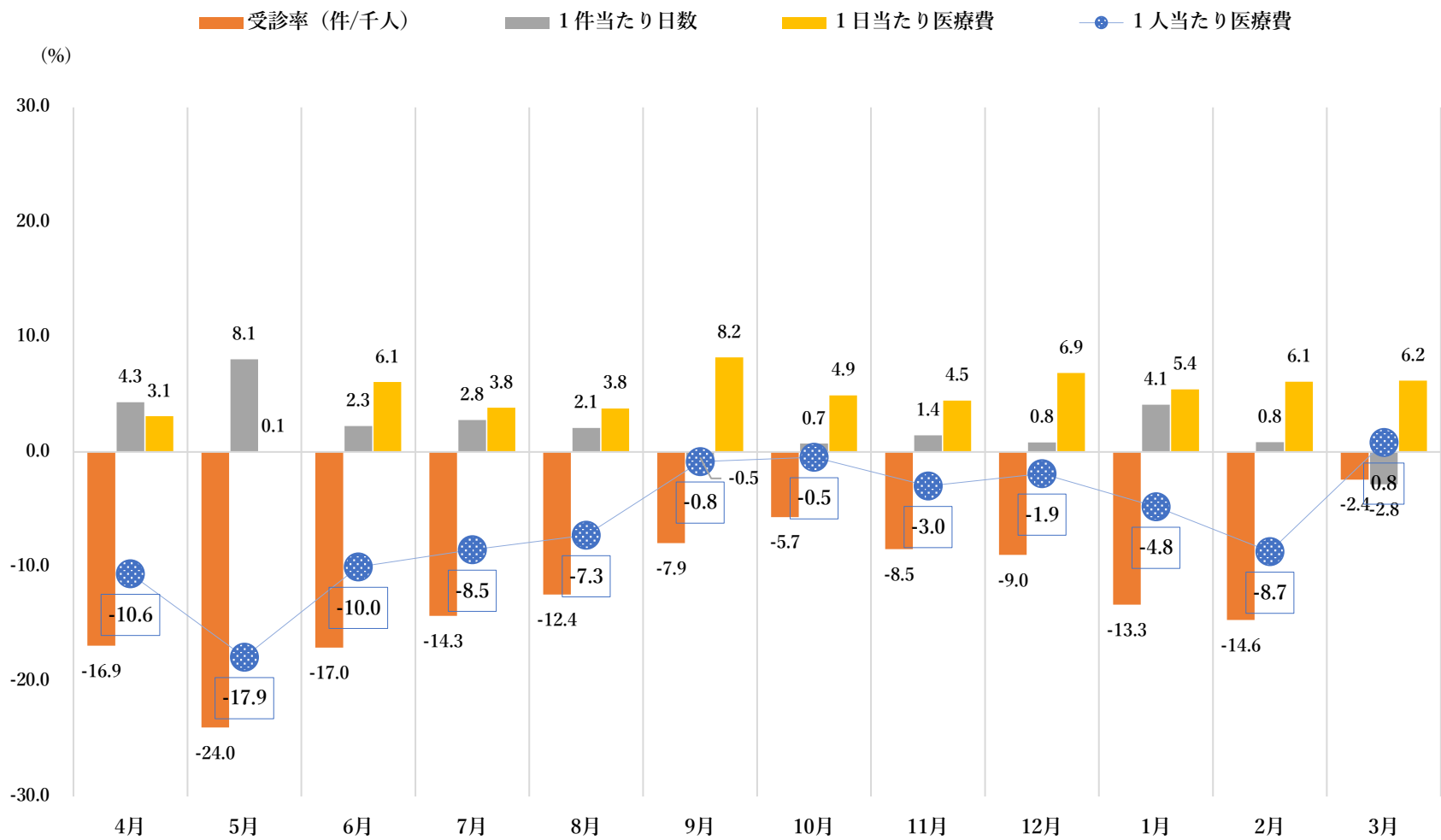


令和2年度 1人当たり医療費及び3要素の対前年同月比伸び率(%)の月別推移
【医科計】

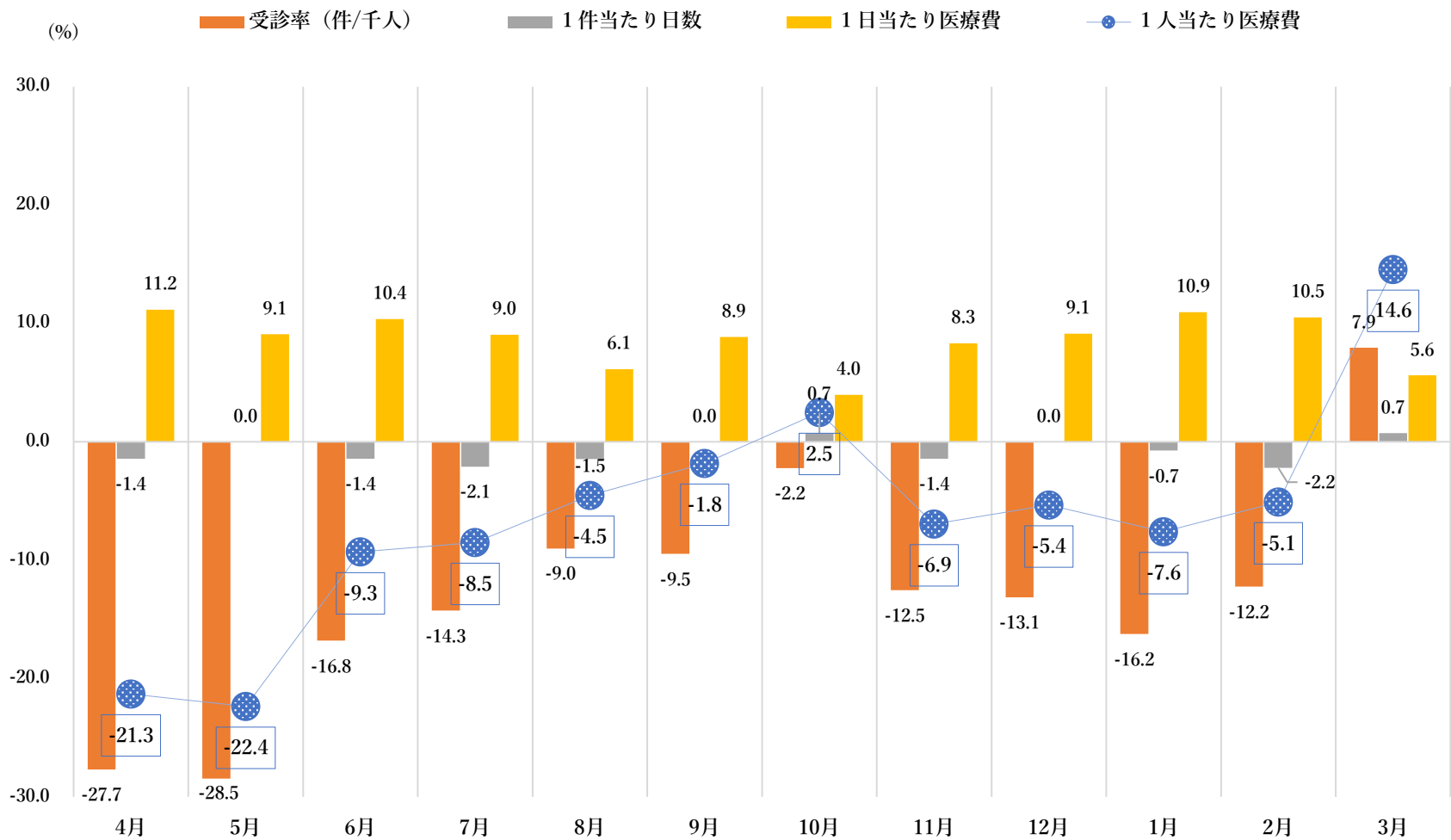


令和2年度 1人当たり医療費及び3要素の対前年同月比伸び率(%)の月別推移

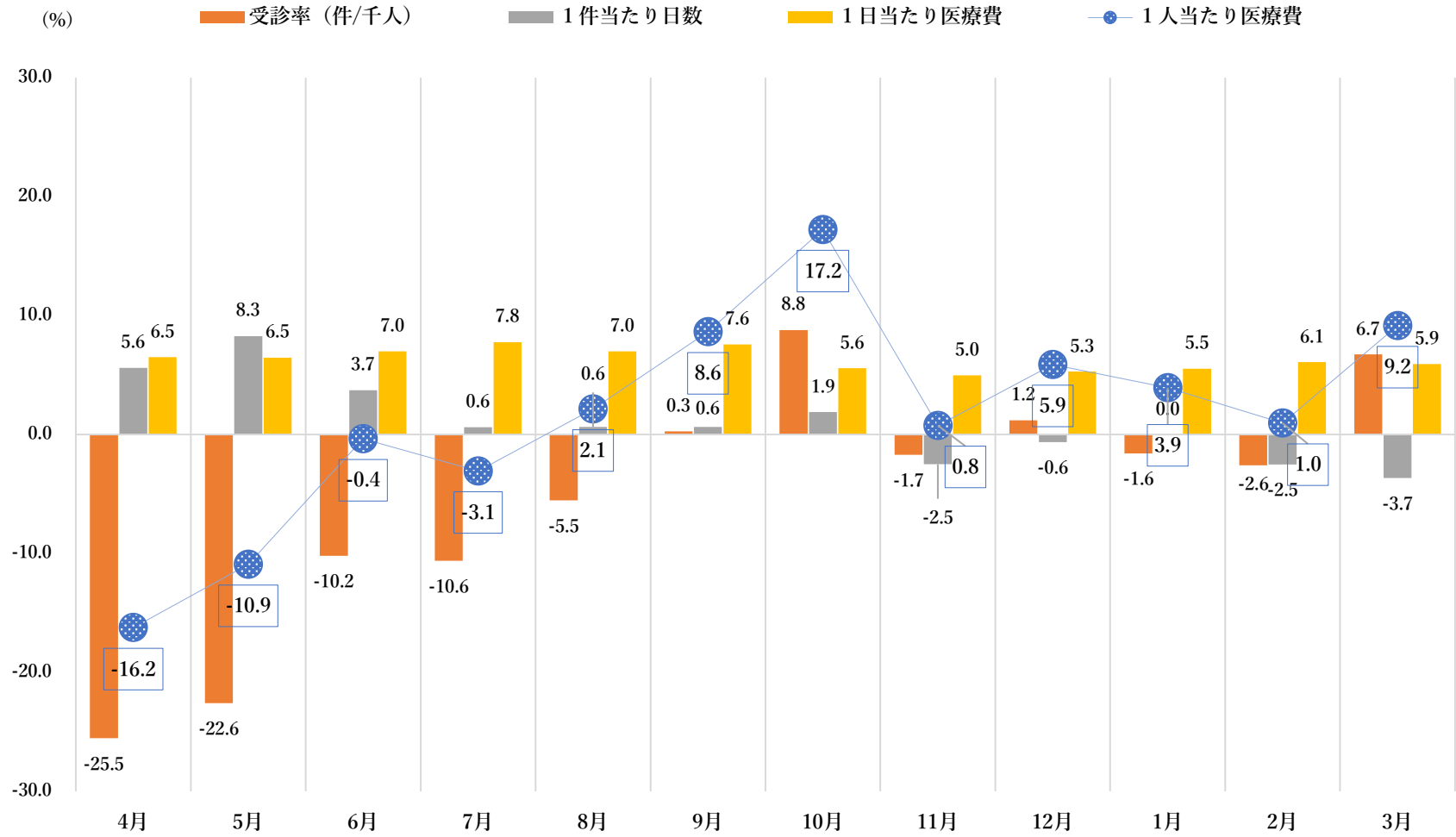
【医科入院】



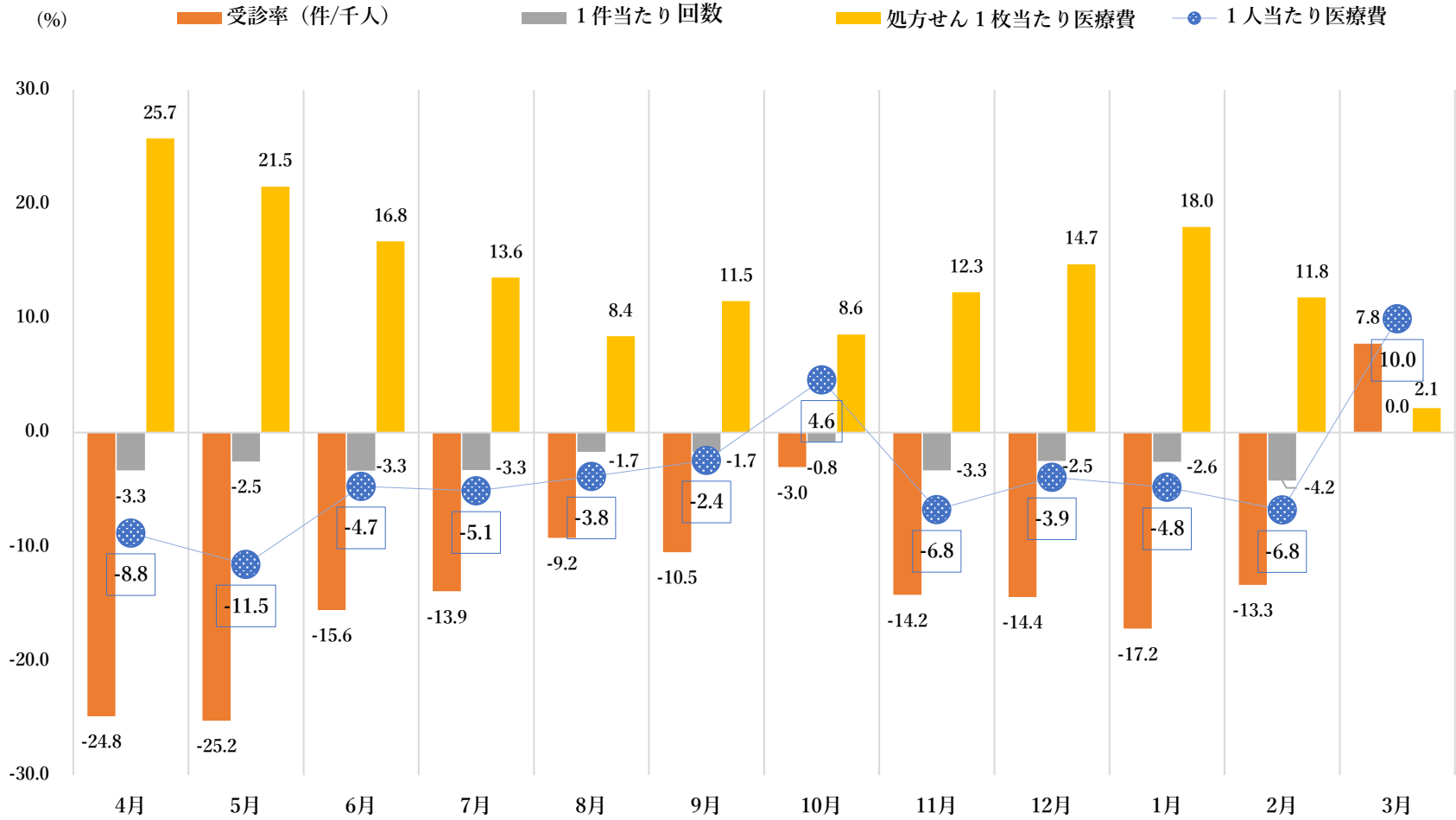
令和2年度 1人当たり医療費及び3要素の対前年同月比伸び率(%)の月別推移
【医科入院外】



令和2年度 1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率(%)の月別推移
【歯科計】



令和2年度 1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率(%)の月別推移
【調剤】



2. 疾病 19 分類別にみた医療費構成割合

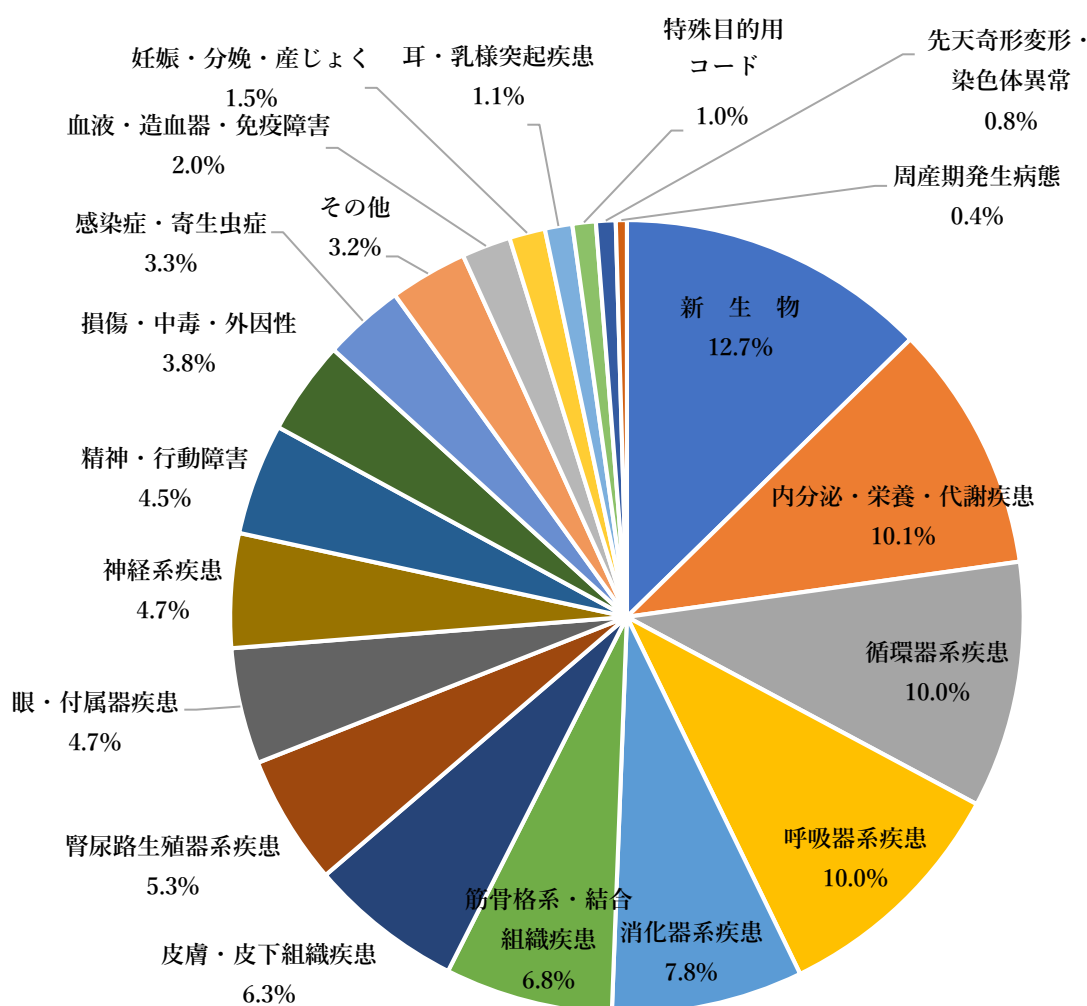
(1) 医科計 (調剤医療費を含む)

- 医科計 (1,250 組合 : 3 兆 491 億円) における疾病 19 分類別医療費の構成割合をみると、①新生物が 12.7%と最も高く、次いで、②内分泌・栄養・代謝疾患 : 10.1%、③循環器系疾患 : 10.0%、④呼吸器系疾患 : 10.0%、⑤消化器系疾患 : 7.8%で、上位 5 疾病で全体の 50.6%を占める。
- 参考として、令和元年度の構成割合をみると (p.27)、①新生物 : 11.9%、②内分泌・栄養・代謝疾患 : 9.4%、③循環器系疾患 : 9.7%、④呼吸器系疾患 : 14.3%、⑤消化器系疾患 : 7.3%で、上位 5 疾病で全体の 52.6%を占める。

令和 2 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

【医科計】

<1,250 組合 : 3 兆 491 億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科計】

疾病分類名	令和 2 年度 (1,250 組合)	(参考) 元年度調査 (1,295 組合)
新 生 物	12.7%	11.9%
内分泌・栄養・代謝疾患	10.1%	9.4%
循環器系疾患	10.0%	9.7%
呼吸器系疾患	10.0%	14.3%
消化器系疾患	7.8%	7.3%
筋骨格系・結合組織疾患	6.8%	6.6%
皮膚・皮下組織疾患	6.3%	5.6%
腎尿路生殖器系疾患	5.3%	4.9%
眼・付属器疾患	4.7%	4.4%
神経系疾患	4.7%	4.2%
精神・行動障害	4.5%	4.3%
損傷・中毒・外因性	3.8%	3.9%
感染症・寄生虫症	3.3%	3.7%
その他	3.2%	4.0%
血液・造血器・免疫障害	2.0%	1.8%
妊娠・分娩・産じょく	1.5%	1.4%
耳・乳様突起疾患	1.1%	1.3%
特殊目的用コード	1.0%	0.0%
先天奇形変形・染色体異常	0.8%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

注) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されな
いもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

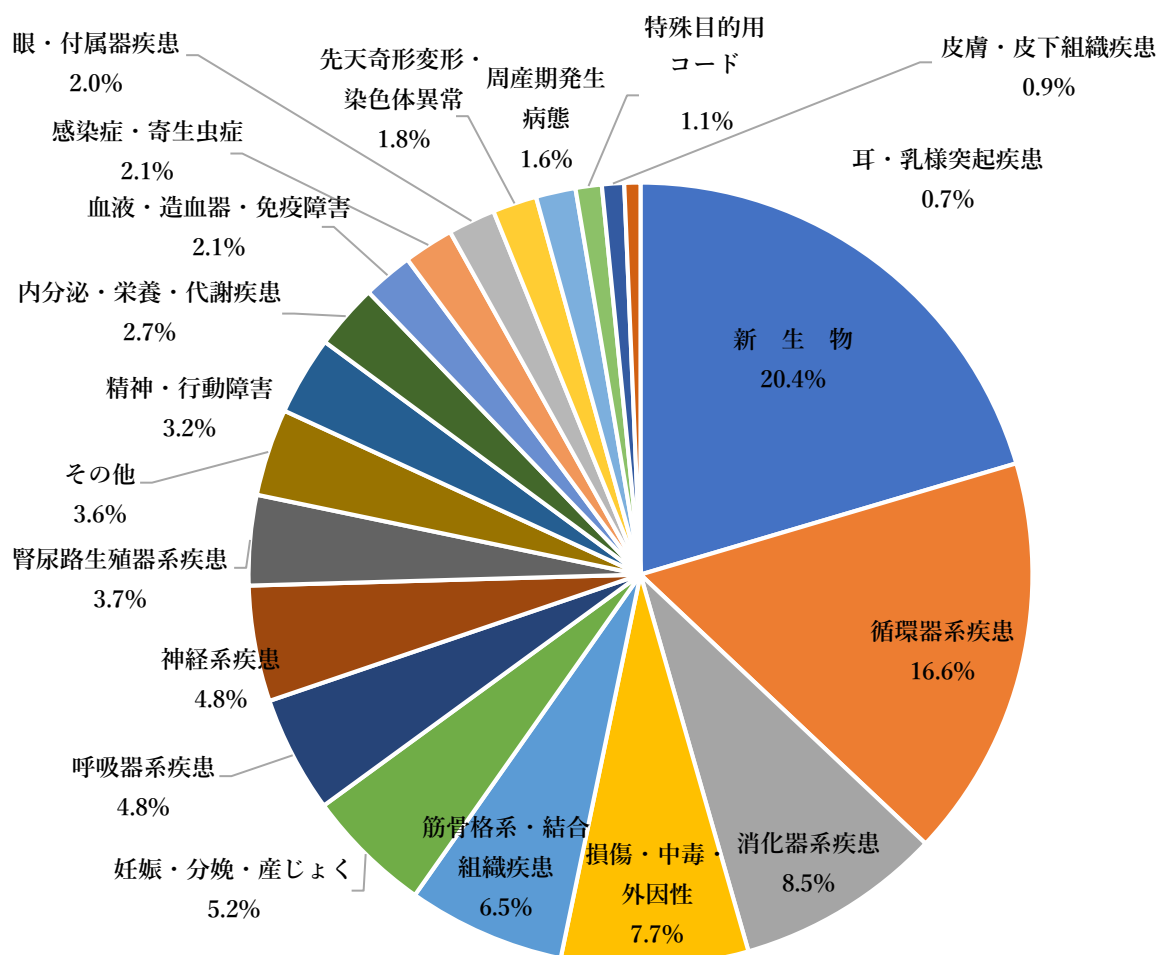
(2) 医科入院

- 医科入院（1,250 組合：7,786 億円）における疾病 19 分類別医療費の構成割合をみると、①新生物が 20.4%と最も高く、次いで、②循環器系疾患：16.6%、③消化器系疾患：8.5%、④損傷・中毒・外因性：7.7%、⑤筋骨格系・結合組織：6.5%で、上位 5 疾病で全体の 59.7%を占める。
- 参考として、令和元年度の構成割合をみると（p.29）、①新生物：19.4%、②循環器系疾患：16.0%、③消化器系疾患：8.4%、④損傷・中毒・外因性：7.9%、⑤筋骨格系・結合組織：6.3%で、上位 5 疾病で全体の 58.0%を占める。

令和 2 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

【医科入院】

<1,250 組合：7,786 億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科入院】

疾病分類名	令和 2 年度 (1,250 組合)	(参考) 元年度調査 (1,295 組合)
新 生 物	20.4%	19.4%
循環器系疾患	16.6%	16.0%
消化器系疾患	8.5%	8.4%
損傷・中毒・外因性	7.7%	7.9%
筋骨格系・結合組織疾患	6.5%	6.3%
妊娠・分娩・産じょく	5.2%	4.9%
呼吸器系疾患	4.8%	6.8%
神経系疾患	4.8%	4.7%
腎尿路生殖器系疾患	3.7%	3.7%
その他	3.6%	4.6%
精神・行動障害	3.2%	3.2%
内分泌・栄養・代謝疾患	2.7%	2.8%
血液・造血器・免疫障害	2.1%	2.0%
感染症・寄生虫症	2.1%	2.3%
眼・付属器疾患	2.0%	1.9%
先天奇形変形・染色体異常	1.8%	1.8%
周産期発生病態	1.6%	1.5%
特殊目的用コード	1.1%	0.0%
皮膚・皮下組織疾患	0.9%	1.0%
耳・乳様突起疾患	0.7%	0.8%

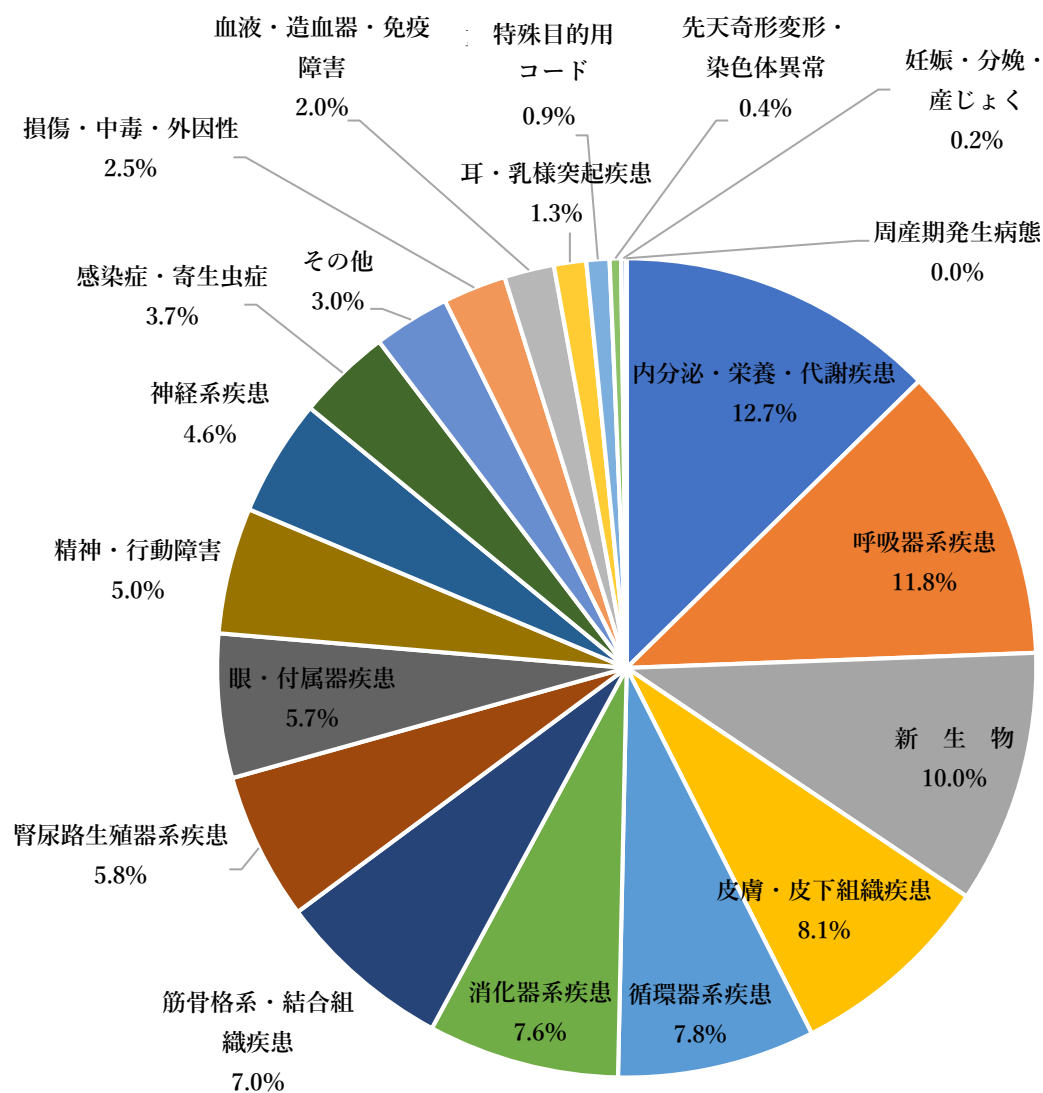
(3) 医科入院外（調剤医療費を含む）

- 医科入院外（1,250 組合：2 兆 2,705 億円）における疾病 19 分類別医療費の構成割合をみると、①内分泌・栄養・代謝疾患が 12.7%と最も高く、次いで、②呼吸器系疾患：11.8%、③新生物：10.0%、④皮膚・皮下組織疾患：8.1%、⑤循環器系疾患：7.8%で、上位 5 疾病で全体の 50.4%を占める。
- 参考として、令和元年度の構成割合をみると（p.31）、①内分泌・栄養・代謝疾患：11.8%、②呼吸器系疾患：17.0%、③新生物：9.2%、④皮膚・皮下組織疾患：7.2%で、⑤循環器系疾患：7.5%で、上位 5 疾病で全体の 52.7%を占める。

令和 2 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

【医科入院外】

<1,250 組合：2 兆 2,705 億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科入院外】

疾病分類名	令和 2 年度 (1,250 組合)	(参考) 元年度調査 (1,295 組合)
内分泌・栄養・代謝疾患	12.7%	11.8%
呼吸器系疾患	11.8%	17.0%
新 生 物	10.0%	9.2%
皮膚・皮下組織疾患	8.1%	7.2%
循環器系疾患	7.8%	7.5%
消化器系疾患	7.6%	7.0%
筋骨格系・結合組織疾患	7.0%	6.7%
腎尿路生殖器系疾患	5.8%	5.3%
眼・付属器疾患	5.7%	5.3%
精神・行動障害	5.0%	4.6%
神経系疾患	4.6%	4.1%
感染症・寄生虫症	3.7%	4.2%
その他	3.0%	3.8%
損傷・中毒・外因性	2.5%	2.5%
血液・造血器・免疫障害	2.0%	1.7%
耳・乳様突起疾患	1.3%	1.4%
特殊目的用コード	0.9%	0.0%
先天奇形変形・染色体異常	0.4%	0.4%
妊娠・分娩・産じょく	0.2%	0.2%
周産期発生病態	0.0%	0.0%

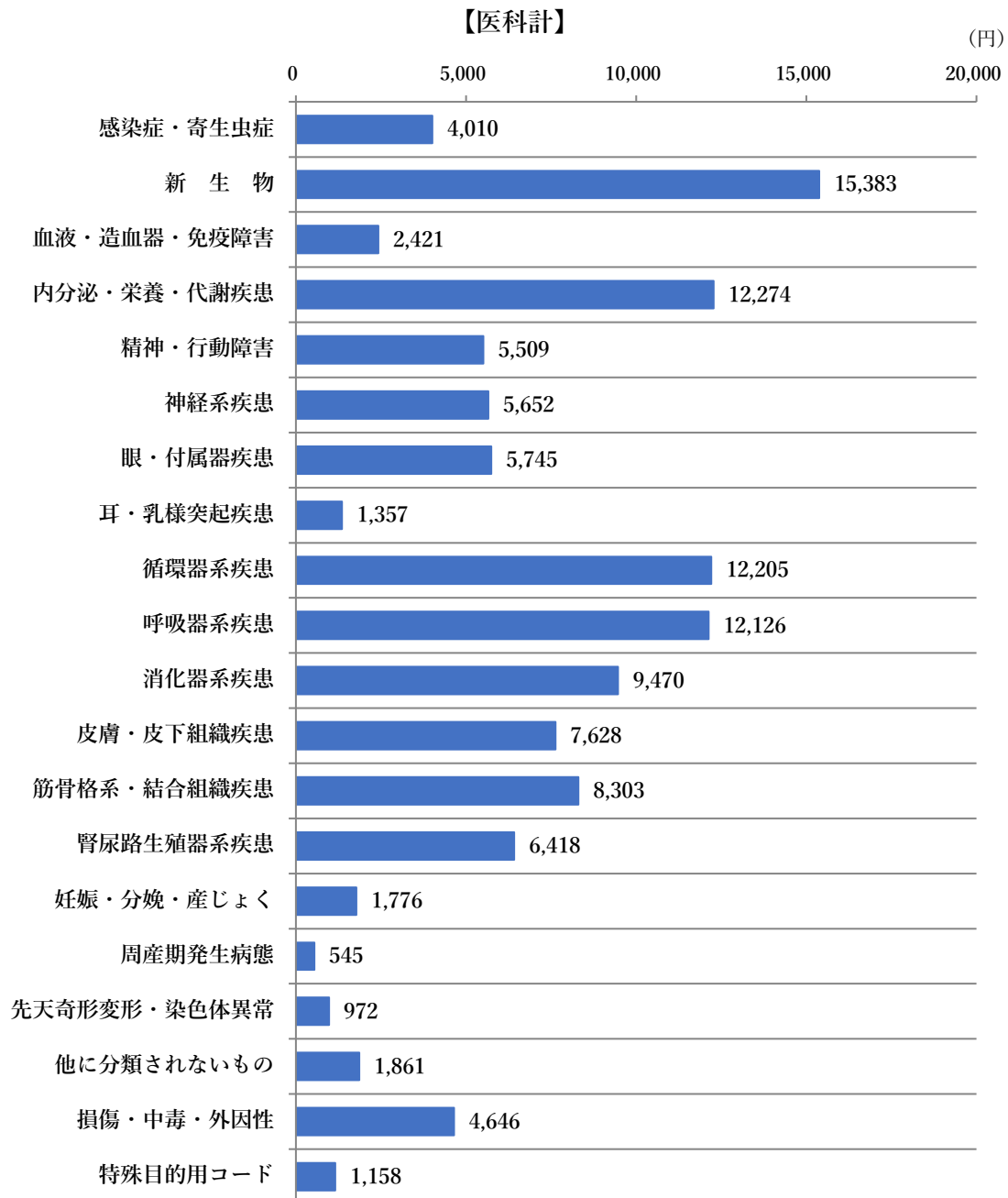
3. 疾病19分類別にみた1人当たり医療費

(1) 医科計

① 1人当たり医療費

- 新生物が1万5,383円と最も高く、次いで、内分泌・栄養・代謝疾患：1万2,274円、循環器系疾患：1万2,205円となっている。

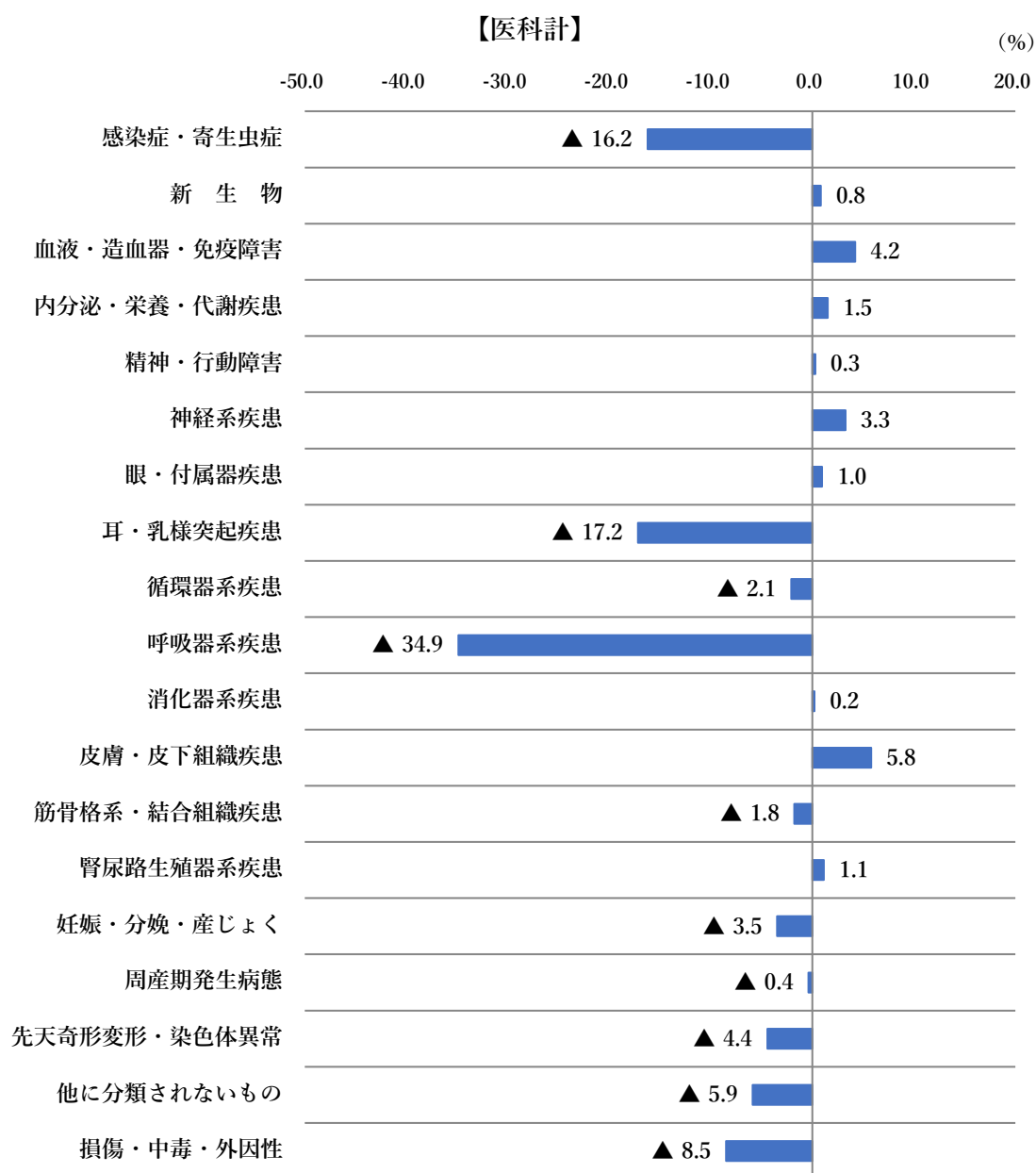
令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費（円）



② 対前年度比伸び率⁶

- 呼吸器系疾患が▲34.9%と大きく減少しており、次いで、耳・乳様突起疾患：▲17.2%、感染症・寄生虫症：▲16.2%となっている。
- 一方、皮膚・皮下組織疾患は5.8%の増加、次いで、血液・造血器・免疫障害：4.2%、神経系疾患：3.3%となっている。

令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費の対前年度比伸び率 (%)



⁶ 対前年度比伸び率は、令和2年度調査：1,250組合のうち、令和2年度と元年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,219組合ベースに基づく値である（以下、同じ）。

③ 伸び率からみた医療費 3 要素

【受診率】

- 呼吸器系疾患が▲34.8%と大きく減少。次いで、感染症・寄生虫症：▲24.2%、耳・乳様突起疾患：▲20.3%となっている。精神・行動障害は 2.1%の増加となった。

【1 件当たり日数】

- 耳・乳様突起疾患が▲7.4%と大きく減少。次いで、呼吸器系疾患：▲3.7%、皮膚・皮下組織疾患：▲2.6%となっている。

【1 日当たり医療費】

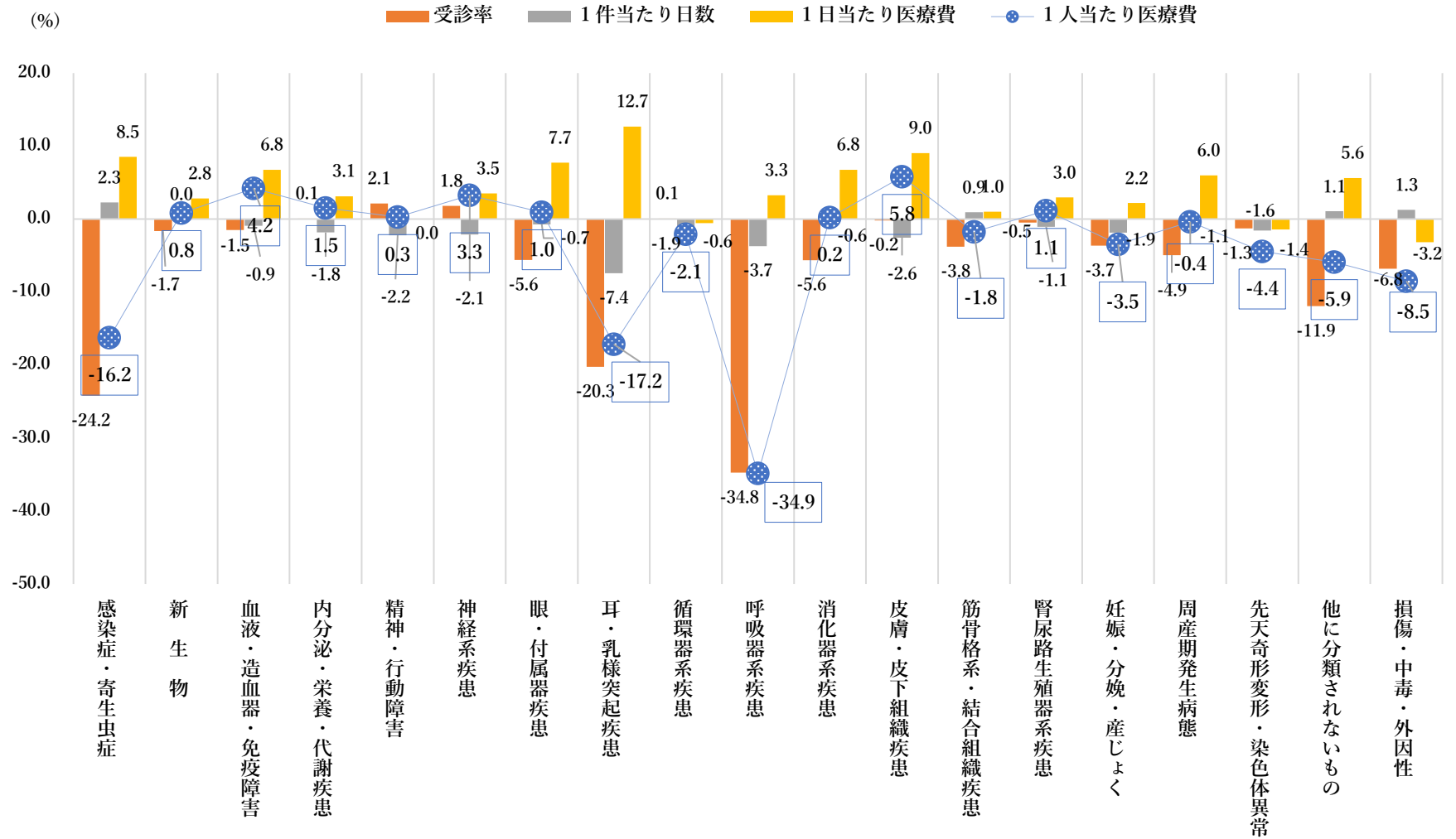
- 耳・乳様突起疾患が 12.7%と大きく増加。次いで、皮膚・皮下組織疾患：9.0%、感染症・寄生虫症：8.5%となっている。

令和 2 年度【医科計】 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率 (%)

疾病分類名	1 人当たり 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲16.2	▲24.2	2.3	8.5
新 生 物	0.8	▲1.7	0.0	2.8
血液・造血器・免疫障害	4.2	▲1.5	▲0.9	6.8
内分泌・栄養・代謝疾患	1.5	0.1	▲1.8	3.1
精神・行動障害	0.3	2.1	▲2.2	0.0
神経系疾患	3.3	1.8	▲2.1	3.5
眼・付属器疾患	1.0	▲5.6	▲0.7	7.7
耳・乳様突起疾患	▲17.2	▲20.3	▲7.4	12.7
循環器系疾患	▲2.1	0.1	▲1.9	▲0.6
呼吸器系疾患	▲34.9	▲34.8	▲3.7	3.3
消化器系疾患	0.2	▲5.6	▲0.6	6.8
皮膚・皮下組織疾患	5.8	▲0.2	▲2.6	9.0
筋骨格系・結合組織疾患	▲1.8	▲3.8	0.9	1.0
腎尿路生殖器系疾患	1.1	▲0.5	▲1.1	3.0
妊娠・分娩・産じょく	▲3.4	▲3.7	▲1.9	2.2
周産期発生病態	▲0.4	▲4.9	▲1.1	6.0
先天奇形変形・染色体異常	▲4.4	▲1.3	▲1.6	▲1.4
他に分類されないもの	▲5.9	▲11.9	1.1	5.6
損傷・中毒・外因性	▲8.5	▲6.8	1.3	▲3.2
特殊目的用コード	-	-	-	-

令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率(%)

【医科計】



(2) 医科入院

① 1人当たり医療費

- 新生物が6,332円と最も高く、次いで、循環器系疾患：5,153円、消化器系疾患：2,642円となっている。

令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費 (円)



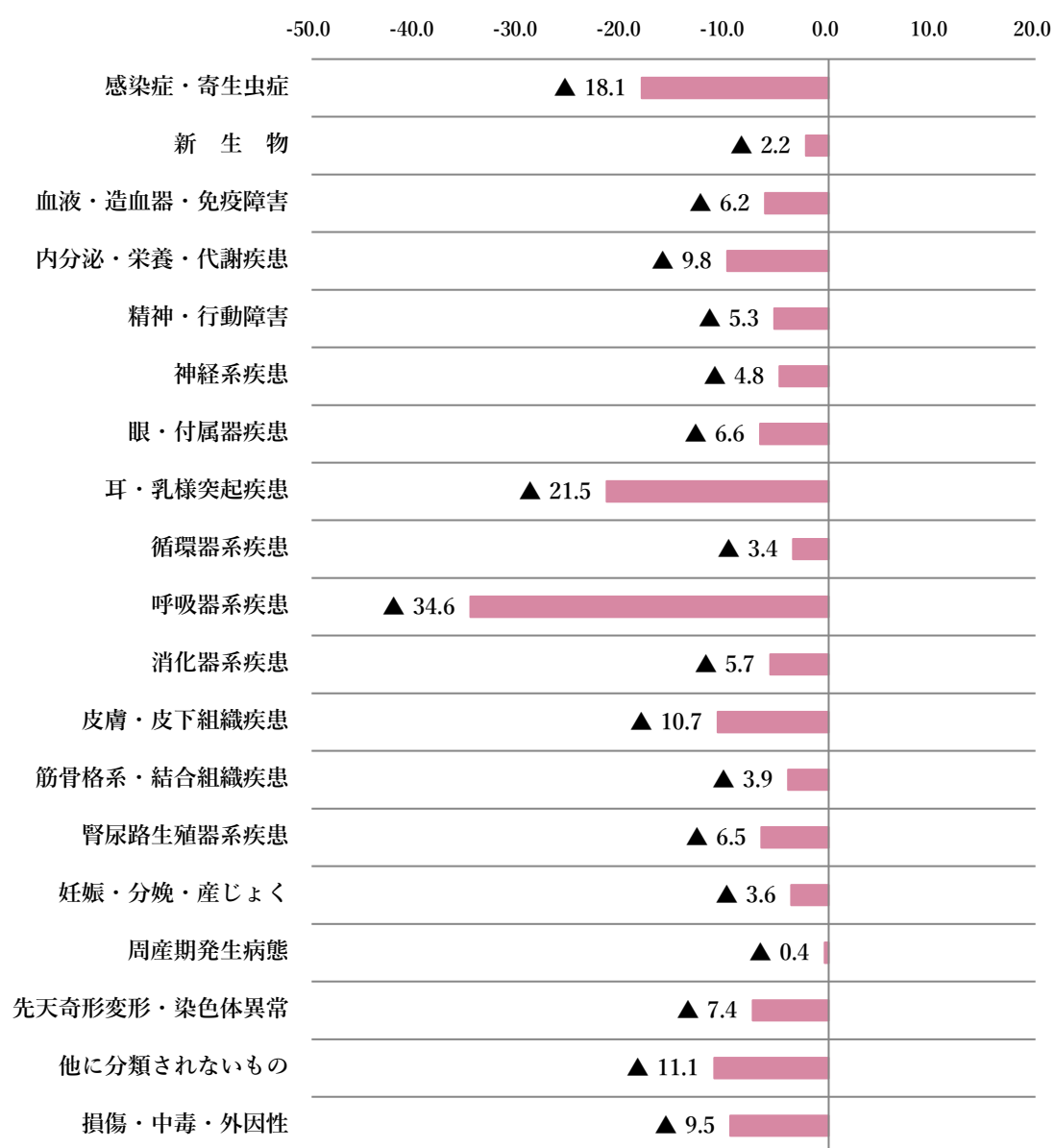
② 対前年度比伸び率

- 全ての疾患で伸び率が減少。
- とく呼吸器系疾患が▲34.6%と大きく減少しており、次いで、耳・乳様突起疾患：▲21.5%、感染症・寄生虫症：▲18.1%となっている。

令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費の対前年度比伸び率 (%)

【医科入院】

(%)



③ 伸び率からみた医療費3要素

【受診率】

- 全ての疾病で減少。とくに呼吸器系疾患が▲30.0%と大きく減少し、次いで、耳・乳様突起疾患：▲28.0%、感染症・寄生虫症：▲20.8%となっている。

【1件当たり日数】

- 呼吸器系疾患が12.6%と大きく増加。次いで、感染症・寄生虫症：10.4%、耳・乳様突起疾患：10.0%となっている。妊娠・分娩・産じょくは▲3.2%の減少となった。

【1日当たり医療費】

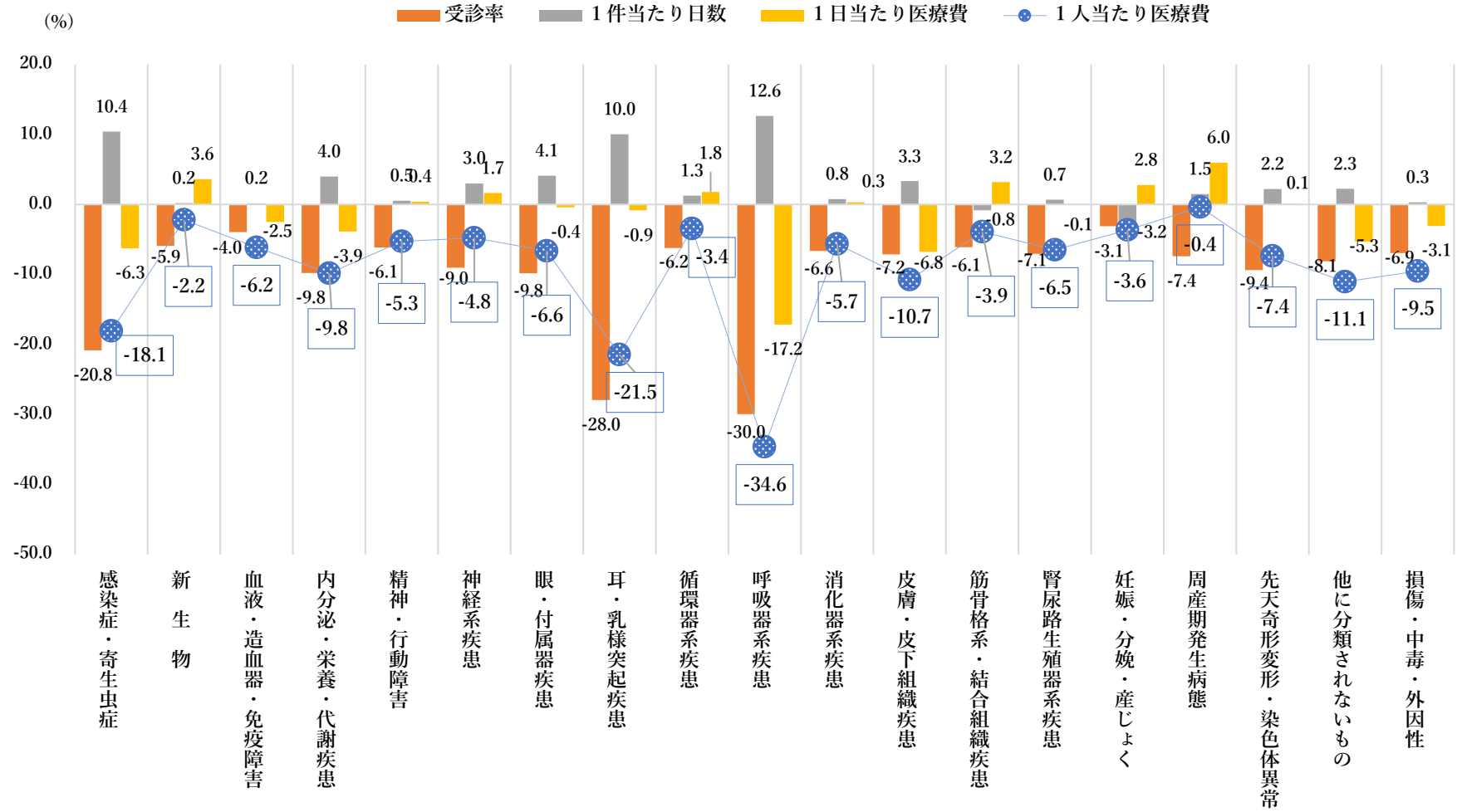
- 呼吸器系疾患が▲17.2%と大きく減少。次いで、皮膚・皮下組織疾患：▲6.8%、感染症・寄生虫症：▲6.3%となっている。

令和2年度【医科入院】1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率（%）

疾病分類名	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲18.1	▲20.8	10.4	▲6.3
新生物	▲2.2	▲5.9	0.2	3.6
血液・造血器・免疫障害	▲6.2	▲4.0	0.2	▲2.5
内分泌・栄養・代謝疾患	▲9.8	▲9.8	4.0	▲3.9
精神・行動障害	▲5.3	▲6.1	0.5	0.4
神経系疾患	▲4.8	▲9.0	3.0	1.7
眼・付属器疾患	▲6.6	▲9.8	4.1	▲0.4
耳・乳様突起疾患	▲21.5	▲28.0	10.0	▲0.9
循環器系疾患	▲3.4	▲6.2	1.3	1.8
呼吸器系疾患	▲34.6	▲30.0	12.6	▲17.2
消化器系疾患	▲5.7	▲6.6	0.8	0.3
皮膚・皮下組織疾患	▲10.7	▲7.2	3.3	▲6.8
筋骨格系・結合組織疾患	▲3.9	▲6.1	▲0.8	3.2
腎尿路生殖器系疾患	▲6.5	▲7.1	0.7	▲0.1
妊娠・分娩・産じょく	▲3.6	▲3.1	▲3.2	2.8
周産期発生病態	▲0.4	▲7.4	1.5	6.0
先天奇形変形・染色体異常	▲7.4	▲9.4	2.2	0.1
他に分類されないもの	▲11.0	▲8.1	2.3	▲5.3
損傷・中毒・外因性	▲9.5	▲6.9	0.3	▲3.1
特殊目的用コード	-	-	-	-

令和2年度 疾病19分類別 1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率 (%)

【医科入院】



(3) 医科入院外

① 1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝疾患が1万1,440円と最も高く、呼吸器系疾患：1万635円、新生物：9,051円となっている。

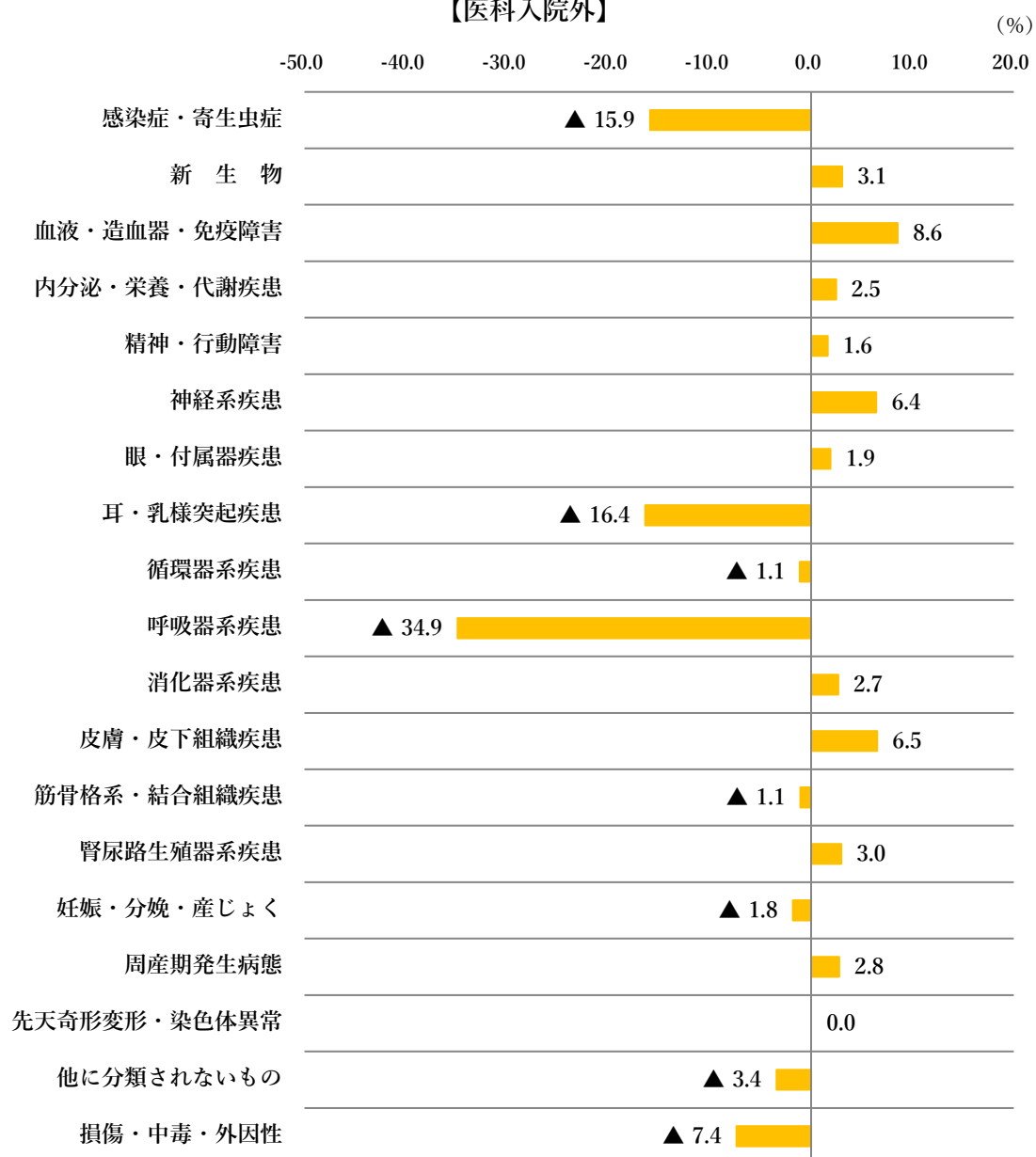


② 対前年度比伸び率

- 呼吸器系疾患が▲34.9%と大きく減少しており、次いで、耳・乳様突起疾患：▲16.4%、感染症・寄生虫症：▲15.9%となっている。
- 一方、血液・造血器・免疫障害は8.6%と増加。次いで、皮膚・皮下組織疾患：6.5%、神経系疾患：6.4%となっている。

令和2年度 疾病19分類別1人当たり医療費の対前年度比伸び率 (%)

【医科入院外】



③ 伸び率からみた医療費 3 要素

【受診率】

- 呼吸器系疾患が▲34.8%と大きく減少。次いで、耳・乳様突起疾患：▲20.2%、感染症・寄生虫症：▲24.3%となっている。

【1件当たり日数】

- 耳・乳様突起疾患が▲7.6%と大きく減少。次いで、呼吸器系疾患：4.6%、皮膚・皮下組織疾患：▲2.7%となっている。

【1日当たり医療費】

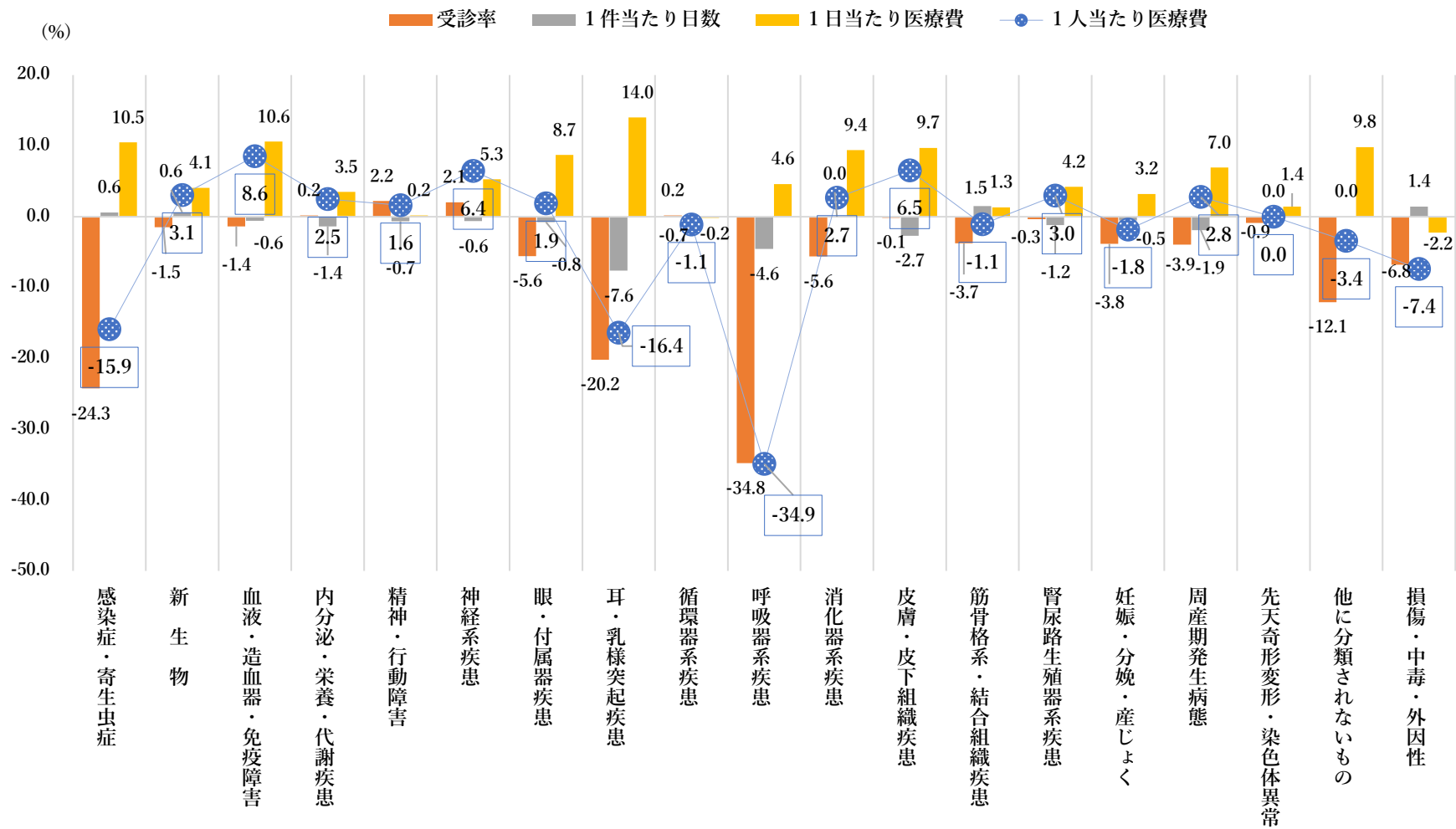
- 循環器系疾患及び損傷・中毒・外因性を除く、全ての疾病で増加した。とくに耳・乳様突起疾患が 14.0%と大きく増加。次いで、血液・造血器・免疫障害：10.6%、感染症・寄生虫症：10.5%となっている。

令和 2 年度【医科入院外】 1 人当たり医療費及び 3 要素の対前年度比伸び率 (%)

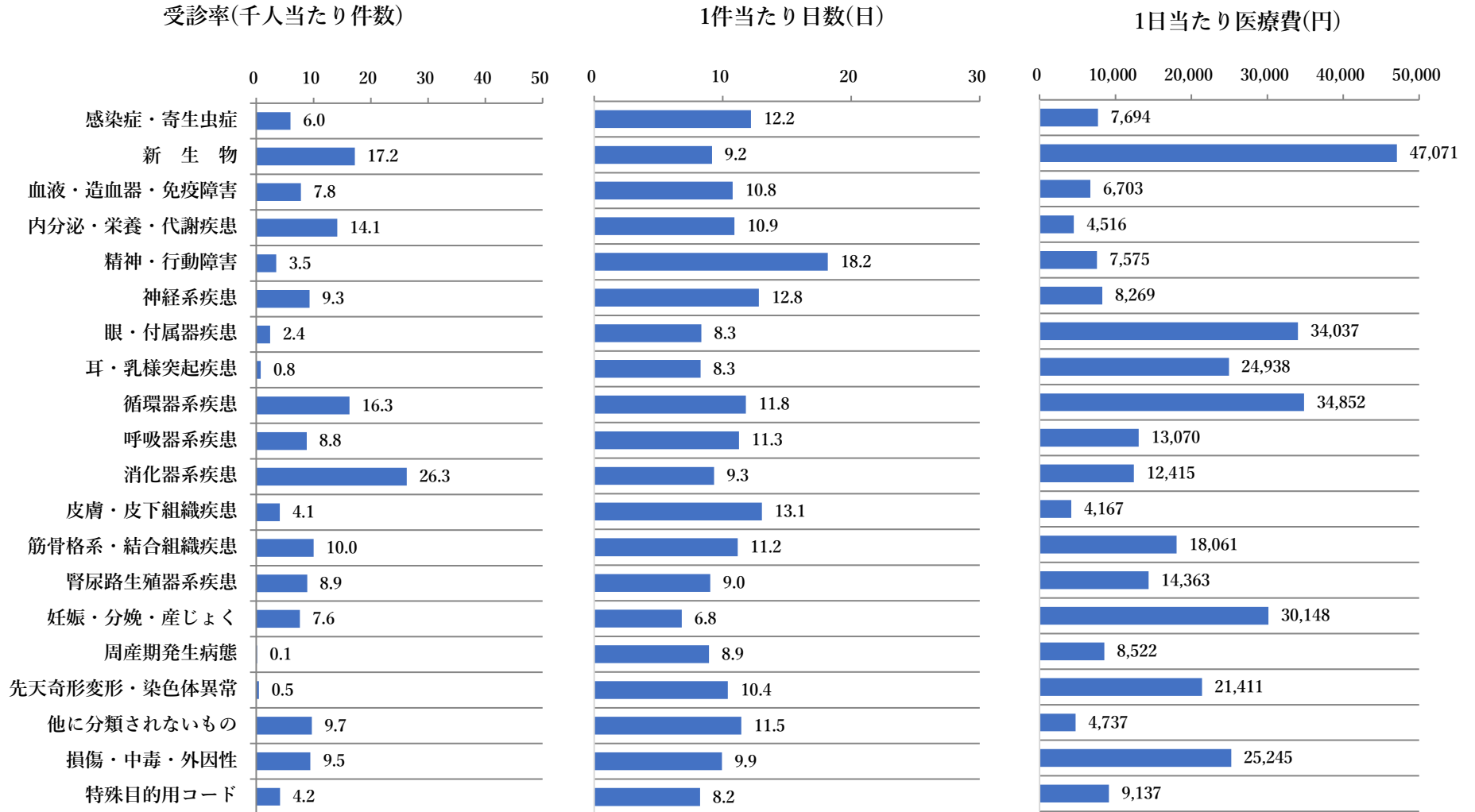
疾病分類名	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲15.9	▲24.3	0.6	10.5
新生物	3.1	▲1.5	0.6	4.1
血液・造血器・免疫障害	8.6	▲1.4	▲0.6	10.6
内分泌・栄養・代謝疾患	2.5	0.2	▲1.4	3.5
精神・行動障害	1.6	2.2	▲0.7	0.2
神経系疾患	6.4	2.1	▲0.6	5.3
眼・付属器疾患	1.9	▲5.6	▲0.8	8.7
耳・乳様突起疾患	▲16.4	▲20.2	▲7.6	14.0
循環器系疾患	▲1.1	0.2	▲0.7	▲0.2
呼吸器系疾患	▲34.9	▲34.8	▲4.6	4.6
消化器系疾患	2.7	▲5.6	0.0	9.4
皮膚・皮下組織疾患	6.5	▲0.1	▲2.7	9.7
筋骨格系・結合組織疾患	▲1.1	▲3.7	1.5	1.3
腎尿路生殖器系疾患	3.0	▲0.3	▲1.2	4.2
妊娠・分娩・産じょく	▲1.8	▲3.8	▲0.5	3.2
周産期発生病態	2.8	▲3.9	▲1.9	7.0
先天奇形変形・染色体異常	0.0	▲0.9	0.0	1.4
他に分類されないもの	▲3.4	▲12.1	0.0	9.8
損傷・中毒・外因性	▲7.4	▲6.8	1.4	▲2.2
特殊目的用コード	-	-	-	-

令和2年度 疾病19分類別 1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率 (%)

【医科入院外】



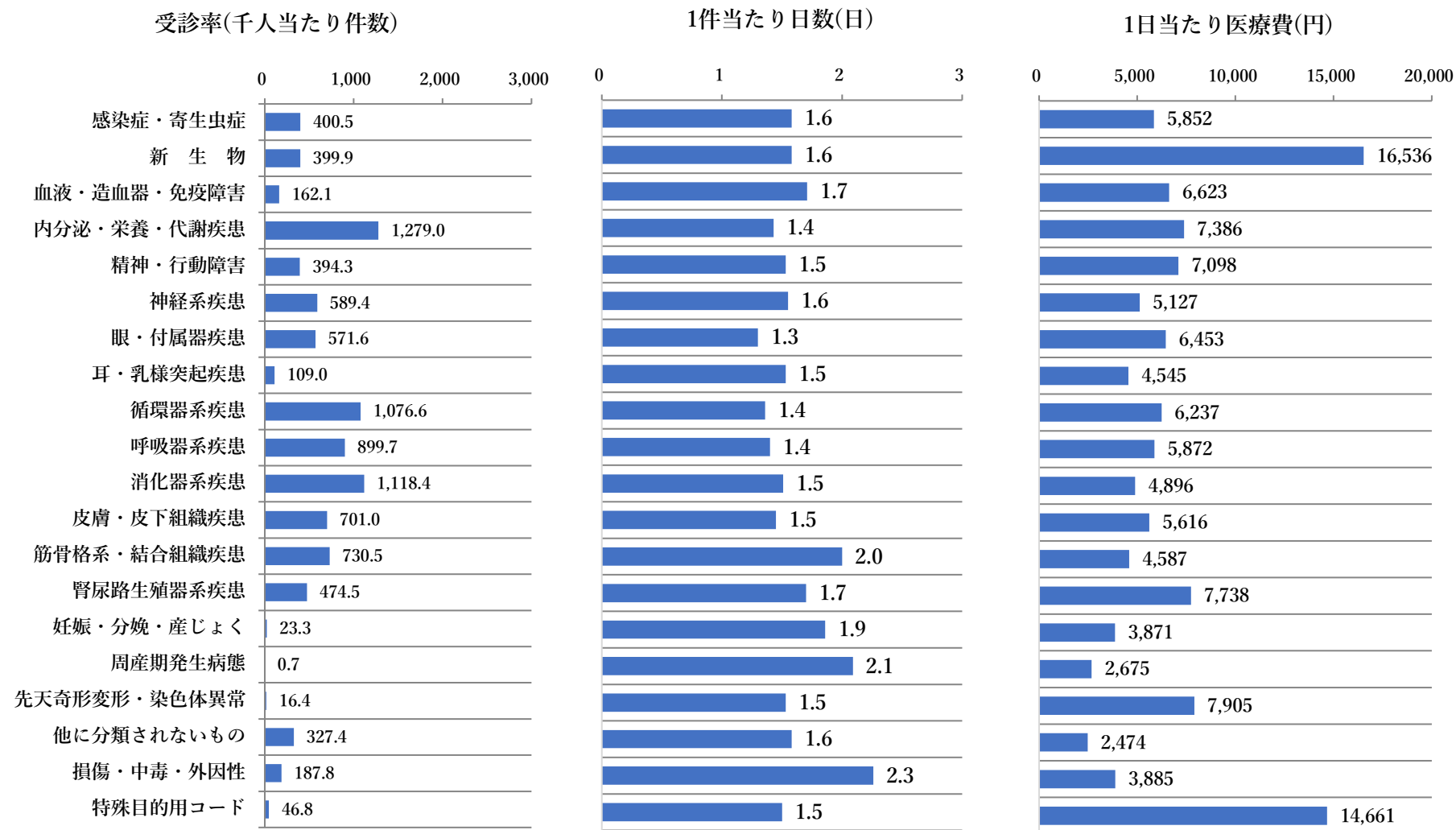
疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院【本人】



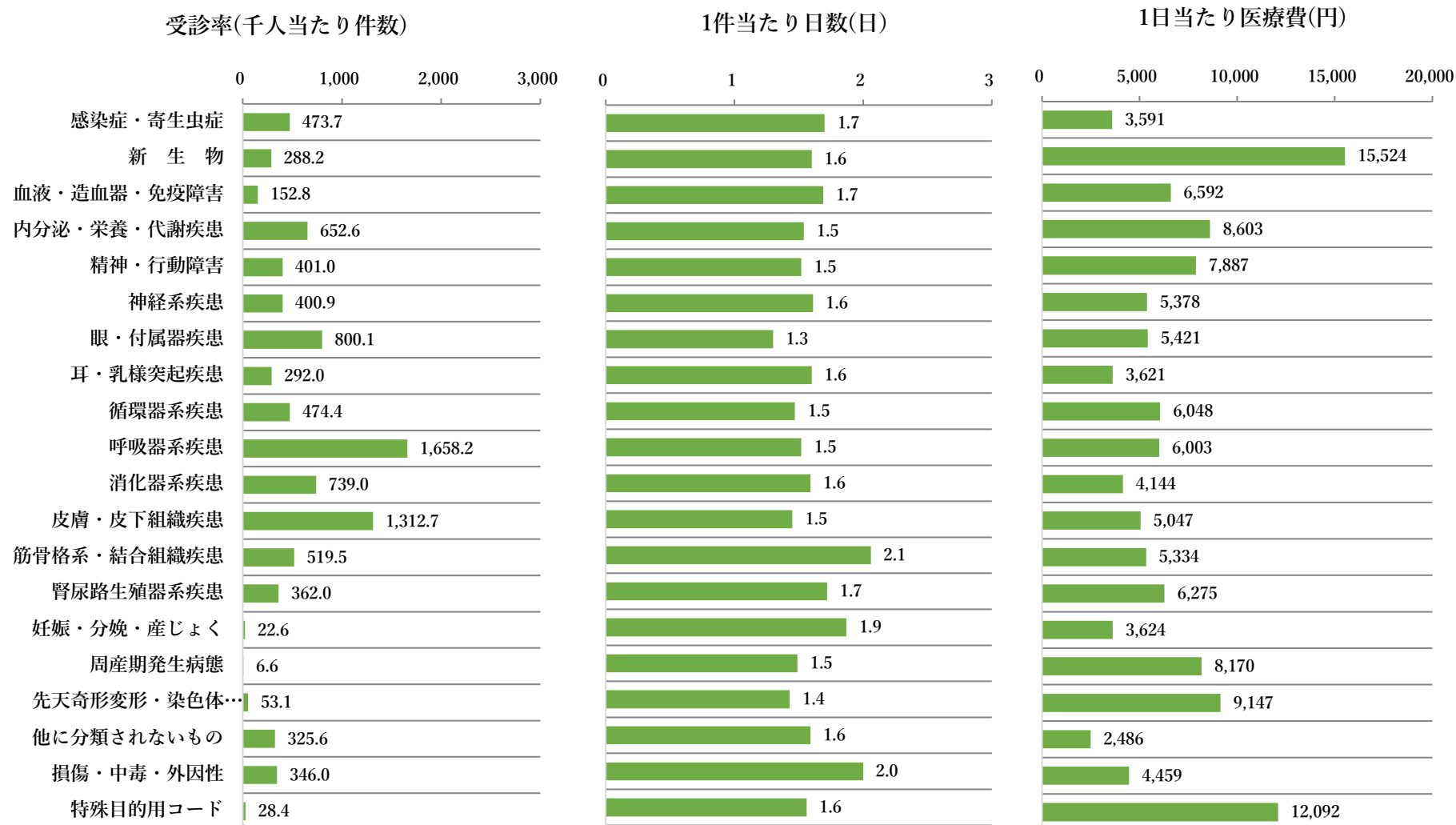
疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院【家族】



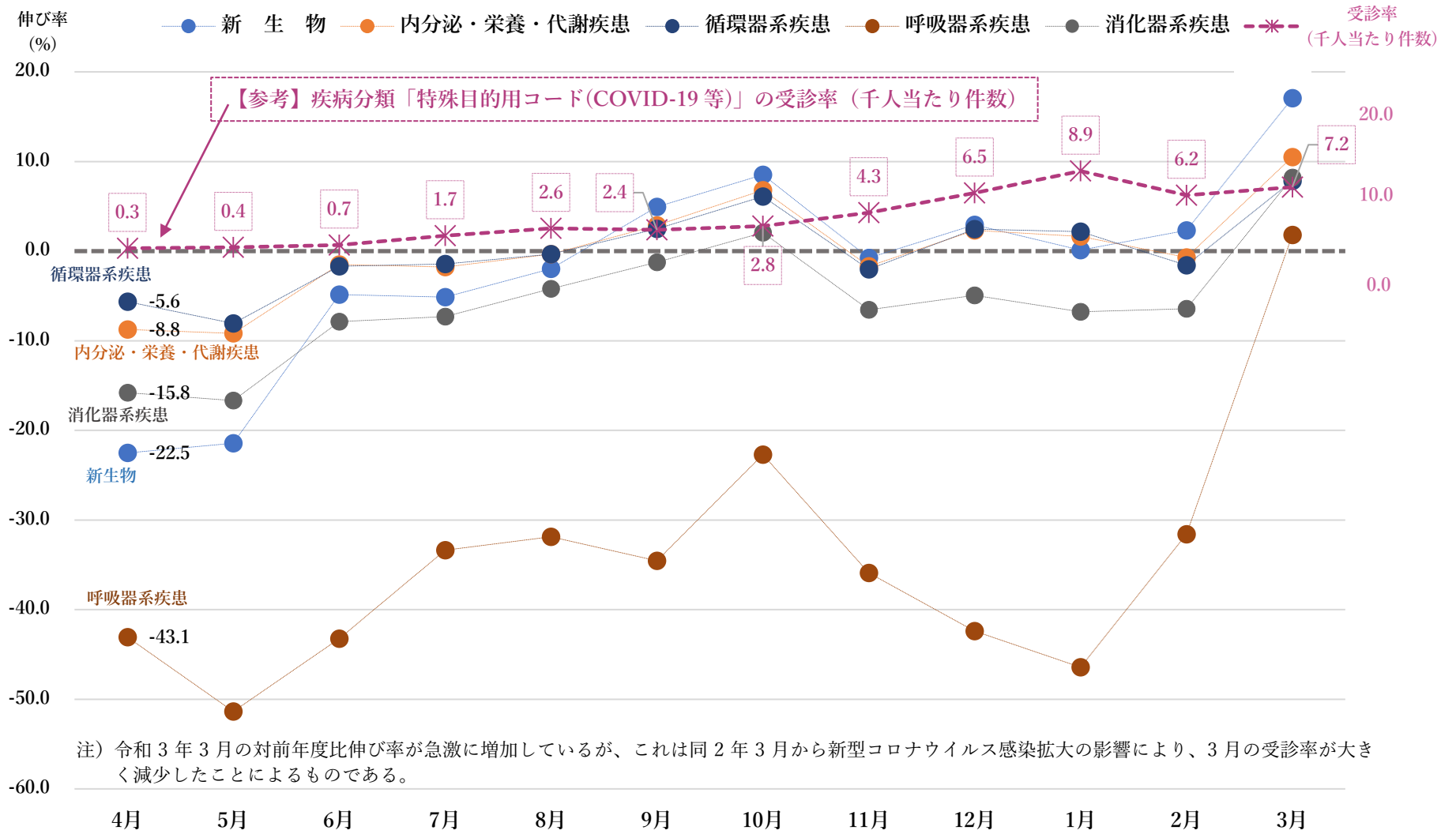
疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院外【本人】



疾病 19 分類別 医療費 3 要素：医科入院外【家族】



【参考】令和2年度 疾病19分類（主な5疾病）別受診率の対前年度同月比伸び率（％）



用語の解説

疾病別医療費の取り扱い

疾病別医療費は、1レセプトに記載された1ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、同一レセプトの医療費を疾病ごとに振り分けた結果をもとに算定する手法を用いている。

レセプトに記載された1ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づいた、1レセプト1傷病名による医療費と異なる点に留意されたい。なお、入院外レセプトには、紐付け可能な調剤レセプトの医療費を含めている。

1人当たり医療費

当該年度の1人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除したものである。

受診率（千人当たり件数）

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したものである。

1件当たり日数

当該年度の1件当たり日数は、当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものである。

1日当たり医療費

当該年度の1日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

1人当たり医療費と医療費3要素分解の算定式

「1人当たり医療費」は、「受診率」、「1件当たり日数」、「1日当たり医療費」の積に分解することができる。

$$1人当たり医療費 = 受診率 \times 1件当たり日数 \times 1日当たり医療費$$
